神田まちづくりセンター改築工事

(建築)

			設計図面	面リスト			
意匠図				構造區			
NO.	図 面 名 称	NO.	図 面 名 称	NO.	図 面 名 称	NO.	図 面 名 称
A-0	工事区分表	A-28	展開図 5、各部詳細図	C-1	構造特記仕様書	C-29	鉄骨詳細図(2)
A-1	特記仕様書 1	A-29	部分詳細図 1	C-2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)		
A-2	特記仕様書 2	A-30	部分詳細図 2	C-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		
A-3	特記仕様書 3	A-31	家具詳細図 1	C-4	鉄骨工作標準図		
A-4	特記仕様書 4	A-32	家具詳細図 2	C-5	ボーリング柱状図(1)		
A-5	特記仕様書 5	A-33	舞台吊物機構詳細図	C-6	ボーリング柱状図(2)		
A-6	特記仕様書 6	A-34	サインキープラン	C-7	SSコラムエ法特記仕様書		
A-7	敷地丈量図、求積表	A-35	サイン詳細図 1	C-8	ベースパック柱脚工法設計施工標準図		
A-8	建物求積図、面積表	A-36	サイン詳細図 2	C-9	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準		
A-9	仕上表 (特記仕様書)	A-37	建具工事(特記仕様書)	C-10	梁貫通孔補強筋スーパーハリーZ Mタイプ標準図		
A-10	仕上表	A-38	建具キープラン	C-11	フリードーナツゼロ 工法標準図		
A-11	配置図、付近見取図	A-39	建具リスト 1	C-12	フリードーナツエイト 工法標準図		
A-12	1階平面図	A-40	建具リスト 2	C-13	角 形 鋼 管 柱 · H 形 鋼 は り 接 合 工 法 NDコア設計·施工標準仕様書【基本仕様編】		
A-13	屋根伏図	A-41	駐輪場詳細図	C-14	角 形 鋼 管 柱 · H 形 鋼 は り 接 合 工 法 NDコア設計 · 施工標準仕様書 【 柱 · はり組合せ編 · 別表 ND400】		
A-14	立面図	A-42	【現況・改修】屋外倉庫棟 現況図、改修図	C-15	角 形 鋼 管 柱 · H 形 鋼 は り 接 合 工 法 NDコア設計 · 施工標準仕様書 【 柱 · はり組合せ編 · 別表 はり中広幅】		
A-15	断面図	A-43	現況平面測量図	C-16	設備工事構造特記仕様書		
A-16	天井伏図	A-44	現況外構平面図	C-17	ソイルセメントコラム伏図		
A-17	矩計図 1	A-45	改修外構平面図	C-18	基礎伏図		
A-18	矩計図 2	A-46	外構改修詳細図 1	C-19	R階下段伏図		
A-19	矩計図 3	A-47	外構改修詳細図 2	C-20	R階中段伏図・R階上段伏図		
A-20	矩計図 4	A-48	外構改修詳細図 3	C-21	軸組図(1)		
A-21	矩計図 5	A-49	【解体建物】 講堂1 平面図・屋根伏図・立面図・断面図	C-22	軸組図(2)		
A-22	平面詳細図 1	A-50	【解体建物】 講堂2 部分詳細図・基礎詳細図・天井伏図・基礎伏図	C-23	軸組図(3)		
A-23	平面詳細図 2	A-51	【解体建物】 会館1 1階平面図・2階平面図・屋根伏図・立面図・断面図	C-24	基礎断面リスト		
A-24	展開図 1	A-52	【解体建物】 会館2 部分詳細図・基礎詳細図・天井伏図・基礎伏図	C-25	RC関係断面リスト		
A-25	展開図 2	A-53	工事計画概要図	C-26	鉄骨断面リスト・鉄骨標準詳細図(1)		
A-26	展開図 3	A-54	工事仮設計画図、緑化面積算定図	C-27	鉄骨標準詳細図(2)		
A-27	展開図 4			C-28	鉄骨詳細図(1)		

株式会社ヤスザワ設計

я <u>П</u>	細目 建築 (1) 屋上基礎 O	電気設備	機械設備 EV設備	備 考 但し、(5)を除く	番号 項目	細 目 【 以下はエレベーター機械室がある場合に適用する 】	建 築 電気設備 機械設備	EV設備	設備機器の位置、取り合し	いなどの検討できる施工図を提出	して、監督職員の承諾を受ける		
	(2) 屋内基礎 O			但し、(5)を除く		(23) 機械室を有するロープ式エレベーターの機械室床の開口	0	機器搬入のため仮設の開口が必要な場合は	※ 開口補強				
	(3) 屋外基礎 O			但し、(4)及び(5)を除く		(4) 機構ウのマンスは、1四級はガラや、共		その復旧を含む	種類(コンクリート部)	対象部材断面	開口寸法 補強部	部 個 数 種 類(軽量鉄骨下均	寸法(約)
	(4) 外灯基礎 (5) 設備用既製基礎	0	0			(24)機械室のマシンビーム受梁及びスペーサー(25)機械室の機器用基礎	0		_ はり貫通孔			天井開口	950 × 950 800 × 1450
	(6) 架台、アンカーボルト	0	0			(26) 機械室床のシンダーコンクリート	0						680 × 1100
	(7) 屋上の給・排気口及び、配管取出口 (8) 上記(7)の配管貫通部のシーリング	0	0			(27) 機械室の照明設備、点検用コンセント (28) 機械室の換気設備	0						680 × 1245
	(6) 工品(// が担目長週間がノーリング					(28) 懐帆全の換気設備	0						450 × 450 400 × 400
					9 設備間の取合	(1) 機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地共)	0 0						150 × 1235
						(2) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 (3) 自動制御盤と動力制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線	0						φ 200 φ 150
						(3) 自動制脚盤と動力制脚盤への電源技術及び採作回路の扱う配管配線 (4) 天井吊り形ファンコイルユニット及び全熱交換形換気扇と操作スイッチ	0						φ 100
補強	(1) 貫通孔材 〇	0	0	鉄骨の鋼製貫通孔及び補強は建築工事		との渡り配管配線及び接地							260 × 260
	(2) 貫通孔材の補強筋 ○ (3) 床、壁開口部の箱入れ及び、補強筋 ○					(5) 煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線	0 0		-				280 × 280 315 × 315
	(3) 床、壁閉口部の相入れ及び、補強肋 (4) 貫通孔及び、箱入れ部の穴埋め (0	0			(6) 小便器用節水装置への電源供給配管配線 (7) 電極棒及び電極帯	0						395 × 395
	(5) 上記(4)の墨出し(梁、床、壁共)	0	0			(8) 地震感知器とバーナー間の配管配線	0						160 φ 310 × 310
コ・補強	(1) 天井、軽鉄間仕切りの開口(ボード等の切込み及び下地補強共)					(9) パッケージ形空調機電源供給 (1次配線)	0 0		-				510 × 510
J * 作用 5虫	(1) 大井、軽駄间は切りの開口 (ホート寺の切込み及びト地補強共) (2) アウトレットボックス類	0	0			(10) パッケージ形空調機(ルームエアコンを含む)二次側配管配線(接地を含む)							560 × 560
	(3) 上記の(1)(2)の墨出し	0	0		10 その他	(1) 配管、配線トラフ(ふた、セパレーター共)	0						
	(4) ALCパネル及びECPの貫通孔加工 (5) まや口(店、工井、壁)					(2) 防油槽(釜場共)	0						
	(5) 点検口(床、天井、壁) 〇 (6) フリーアクセスフロアの穴あけ加工及び補強 〇					(3) 浄化槽躯体、地下オイルタンクのタンク室 (土工事共) (4) FRP製浄化槽・地下オイルタンクの基礎、上部スラブ (土工事共)	0 0						
						(5) 地下オイルタンク埋戻し用乾燥砂	0			+			
	(1) 補強を要しない設備配管等の躯体貫通部の穴開け	0	0			(6) 電気錠、制御装置及び操作部(テンキー)が一体のもの	0						
	(2) 補強を要しない設備配管等の天井、壁ボードの切り込み (3) 設備の撤去により生じた補強を要しない床、壁の開口の穴埋め	0	0	穴埋め後の仕上げ工事は建築工事		(7) 入退室管理装置の制御装置、操作部 (テンキー等) 及び建具までの配線 (8) 入退室管理装置の電気錠	0			+			
	(4) 設備の撤去により生じた補強を要する床、壁の開口の穴埋め O					(9) 太陽光パネル取付 屋根金物	0						
F 88 /*													
事関係	(1) 雨水排水(配管、ます、ふた) (2) 汚水、雑排水(配管、ます、ふた)		0										
	(3) 敷地内合流 (雨水と汚水、雑排水合流以降の配管、ます、ふた)		0										
	(4) 下水本管への接続		0	雨水単独の場合は建築工事とする									
	(5) 機械室のます、ふた ○ (6) 屋外くつ洗い流し ○			排水金物等への接続配管以降機械設備工事						+			
	(6) 屋外ぐつ洗い流し (7) ゴミ置き場の排水設備		0	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
	(8) 便器、洗面器		0										
	(9) 洗面カウンター (洗面器は除く)		0										
	(10) ユニットバス及びユニットシャワー (11) 現場打ち浴槽及び既製浴槽												
	(12) 造付け流し台及びBL型流し台								壁開口 有圧換気扇	450 × 450	3		
	(13) 厨房流し台及び実験器具流し台		0						17 17 N/M	100 % 100			
	(14) 厨房器具(基礎共) (15) 厨房排水溝(ふた共)		0										
	(16) グリーストラップ(ふた共)		0										
	(17) 鏡		0										
	(18) 手すり O (19) FRP製浄化槽 O		0	システム及びユニットに直接設置する場合は、機械工事									
	(20) 衛生器具の取付下地の補強												
	(1) 外部ガラリ (ダクト接続の場合は取付枠共) ○												
用沃尔	(2) 内部ガラリ(ドアガラリ)												
	(3) 内部ガラリ(レターンガラリ)		0										
	(4) 厨房フード (幕板、吊りボルト共) (5) 換気扇用ガラリ取付枠		0										
	(6) ウェザーカバー		0										
	(7) 防火区画、ダクト貫通部の鋼枠		0										
	(I) FELL (MED. THER. II)												
系	(1) 電柱 (新設、移設共) (2) 煙感知器連動防火戸のラッチ受座取付用切込補強	0											
	(3) 煙感知器連動防火戸の磁石式吸着板、電磁式ラッチ受座取付	0											
	(4) 自動ドア電源供給 (1次配線)	0								+			
	(5) 自動ドア電源供給(2次配線及びアウトレットボックス) ○ (6) 電動シャッター等電源供給(1次配線)	0											
	(7) 電動シャッター等電源供給(2次配線)												
	(8) 空調・衛生設備のユニット機器電源供給(1次配線)	0											
	(9) 空調・衛生設備のユニット機器電源供給(2次配線)		0										
	(1) 昇降路の築造工事												
	(2) 各階乗り場の壁開口												
	(3) 乗り場出入口の敷居受、床持ち出し (4) 鉄骨造のシャフト壁面に設置する機器類の取付用下地鋼材			ただし特配した部材のみとし、それ以外に必要なものは									
	、			ただし好配した部村のみとし、それ以外に必要なものはエレベーター設備工事に含むものとする						+			
	(5) 鉄骨造の乗り場の三方枠、ボタン、位置表示器等の取付用下地鋼材												
	(6) 三方枠の区画処理(モルタル充填等) (7) ピット内防水工事			三方枠(大枠)が建築工事の場合は建築工事で施工する									
	(7) こット内的がエ争 (8) ピット点検用タラップ /												
	(9) ピット点検用コンセント												
	(10) 電源盤への電源の供給 (11) エレベーター制御盤への火災報知器信号の供給												
	(11) エレベーダー制御監への火災戦知器信号の供給 (12) 館内放送及び監視カメラのモニター用配線			ただしエレベーター制御盤への結線までとする							-		
	(13) インターホン用配管配線工事												
	(14) 監視盤用配管配線工事			監視盤用の電源を含む									
	(15) 煙感知器 (16) 非常用エレベーターロビーの避難経路表示板												
	(17) 機械室天井又はシャフト頂部のトロリービーム、フック												
	(18) かご内監視カメラ			カメラ用モニターは電気設備工事とする									
	(19) カメラモニター (20) カメラと制御盤との渡り配管配線												
	(20) カメラと制御盛との渡り配官配線 (21) 制御盤とカメラモニターとの渡り配管配線												
	(22) 電力量計及び電力量計と表示装置等との渡り配管配線												
								おない。おお者		図面名称		SCALE DATE	SIGN
	•						りセンター改築工事(う	建築)		E4 E4 141		DAIL DAIL	月 Sidn

	建築工事特記仕様書		工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとすること。 (1.4.1) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証		がVE提案に対する変更案を求めた場合、乙はこれに応じるものとする。 (7) VE提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合、VE管理費については原	1 監督職員事務所	○設ける ・設けない (2.3.1)○構内 ・構外
工事名称	神田まちづくりセンター改築工事 (建築)		明のためのガイドライン」(林野庁 平成18年2月15日)に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。		則として変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない事由		規模 (10) ㎡程度
I エ 事 場 所		(13) 材料の検査に伴う試験	試験は、原則として公的試験場で行うものとし、その場所の決定にあたっては監督職員の承諾を受けること。 (1.4.2)		(不可抗力や、予測することが不可能な事由等)により、工事の続行が不可能、または著しく工事低 減額が減少した場合においては、甲乙協議して変更できるものとする。	仮	仕上げの程度 ※下表を標準とする
	从具示及共印加口叫	14) 特殊な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。		が成が減少した場合においては、中乙励識して変更できるものとする。 6. VE提案の保護	■正	床 合板張り又はビニル床シート張り
┃ ┻ │ 用 途 規 制	第1種低層 第2種低層 第1種中高層 第2種中高層 第1種住居 第2種住居	15 各種検査合格書等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各1部を提		V E提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で		内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションバイント塗り
事。	準住居 近隣商業 商業 準工業 工業 工業専用 指定なし 防火地域 準防火地域 法22条指定区域 指定なし	(16) 設備工事との取合	出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。 各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、軽量鉄骨天井下地、 (1.3.11)		使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。 7. 責任の所在	_	屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
その他の規制			同壁下地の開口補強は建築工事とする。		発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った請負人	事	監督職員事務所の備品等
	本体建物は、令和6年9月30日までに引渡すこと。 新築	(17) 下請け業者の選定	又、設備工事との取合部においては施工図にて入念に確認を行うこと。 各種下請業者、製造所等市内で供給出来るものについては、極力市内業者を選定すること。	 32 総合評価方式に関	の責任が否定されるものではない。 1. 競争参加資格の確認申請時の技術提案内容の担保	2 工事用水	※設ける(種類及び数量は、監督職員と協議する) ・設けない 構内既存の施設 ①利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない
世 要	床 面 積 (㎡) 延面積	17 1 明 7 来 1 0 医定	日往「明末日、表足が守事的で、例如田木の ひのに シャ くは、 怪が事的未日ととだっ ひここ。	する特記事項	請負人は、競争参加資格の確認申請時に提出した施工計画等に関する技術提案書(技術提案書の採否通知に	③ 工事用電力	横内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない
NO 名称	1階 2階 (m)	18 公害対策	工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、		おいて一部不採用とした提案がある場合はこれを除く。以下、「技術提案書」という。)に基づき、工事を	④ 仮囲い等	種類 設置場所 設置期間
I まちづくりセンター棟新築工事 II 倉庫棟改修工事	新 築 S造 746.85 746.85 746.85 746.85 746.85 746.85	(19) 産業廃棄物の処理	工事竣工まで万全の対策を講ずること。 請負人は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して		履行しなければならない。 2. 技術提案内容の施工計画書への反映		・高さ2.0m 図示の範囲とする ○高さ3.0m
Ⅲ 外構改修整備工事	新 設 一式 12.98 12.98		承諾を受けること。		施工計画書の取り扱いは標仕のとおりであるが、請負人は技術提案書の内容を満足する施工計画書を監督職		・フェンスバリケード ○高さ 1.8 m 図示の範囲とする
┃ ┃Ⅳ 解体撤去工事	解体 一式 (583.91) (184.95) (768.86) 既設講堂、会館解体		(1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の 再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。		員に提出しなければならない。なお、施工計画書において、技術提案書の内容を一覧できる様式に整理する こと。また、提案事項ごとに具体的な実施方法、履行の確認方法および確認時期について、監督職員の承諾		・3m ・3m ・8m 1箇所 ・交通誘導員 工事期間内
			(2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守		を得るとともにその内容をあわせて施工計画書に記載すること。	⑤ 足場その他	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1 (2.2.4)
合 計	786. 83 786. 83		し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用〔促進〕計画書および		3. 配置技術者等		「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手す
概要説明	本工事は、神田まちづくりセンターの建替新築を行う。又、それに伴う解体・外構整備改修工事も行う。 工事順序は、A-53図に則って行うこととし、本体建物の完成後会館解体工事及び外構工事を行うこと。		同実施書を作成し速やかに報告のこと。 (1.3.8) (3) 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第12条の3によるマニフェストシス		請負人は、技術提案書に記載した配置予定技術者を当該工事の主任技術者または監理技術者(以下「配置技 術者」という。)として配置しなければならない。	(6) 工事ヤード	り先行専用足場方式により行う。ただし、くさび形足場も可とする。 本工事における工事ヤードとして新築工事時(約12か月間)595m2、解体工事及び外構工事時(約4か月間)110m2、敷地
別途工事	電気設備工事、機械設備工事、図示以外の備品・什器工事 一式		テムにより的確に実施すること。		4. 履行の確認		南側のグラウンドを借地できることとする。ただし、土地賃貸借契約においては受注者と地権者が結ぶこと。(A-54図参照)
■ 1 図表形が供記仏従事	に記載されていかい東京は、ナミで同士なほかまに京京宮宮宮営経如既版「ハサ海等で東福洋仏経事」見如に、	② 発生材の処理	※構外搬出適切処理・指定()		請負人は、技術提案事項を履行したときは、速やかに、その旨を監督職員に通知するとともに、監督職員の		また、工事完了後の借用地の整地・復旧は、本工事にて行うこと。
	に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 最新版」 う) および「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」(以下「改修標仕」という)による。(国土交通省大臣	(21) 保険等	受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事組立保険等を工事目的物に付すとともに、第三者等 への損害についても補償する保険に加入すること。		立会または確認を受けなければならない。 履行の確認にあたり必要があると認められるときは、監督職員はその理由を請負人に通知して、工事目的物を最小		
1	「建築工事監理指針 最新版」および「建築改修工事監理指針 最新版」を参考とする。)	② 安全対策	・ 工事車両の出入りについては、速度制限を厳守し、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通整		限度破壊して確認することができる。この場合の確認または復旧に直接要する費用は、請負人の負担とする。		
	図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書		理員を配置するとともに、近隣家屋に騒音、振動等の公害が発生しないよう留意し、工事全般に万全の対		5. 再度の施工 (1) 請負人は、前項の確認により技術提案事項が履行できていないことが明らかになったときは、直ちに	(3) ① 建設発生土の処理	・場内指定場所に堆積 ・場内指定場所に敷き均し (3.2.5)
┃ <u>工</u>	、「解体共通仕様書」という。)による。 1 項目は番号に ○ 印のついたものを適用する。		│ │		(I) 請負人は、削填の確認により技術提案事項が履行できていないことが明らかになったときは、直らに 再度施工または手直しの計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、発注者が再度の施工		※場外搬出適切処理(運搬・処分費を含む、事前に処理先ほ報告する事)
 	2 特記事項は ① 印のついたものを適用する。		検討のうえ、関係法令に従い安全堅固に設置すること。		が適当でないと判断した場合は、この限りではない。		搬出場所
 	○ 印のない場合は ※ 印のあるものを適用する。○ 印と ※ 印のある場合はともに適用する。	②3 総括安全衛生 管理義務者	労働安全衛生法第30条第2項の総括安全衛生管理義務者には、(※建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) の請負人を指名する。		(2) 請負人は、前項の計画書の内容について監督職員の承諾が得られたならば直ちに実施し、再度監督職 員の確認を受けなければならない。	ュー	名称: 受入可能な土質区分: 住所: 受入期間:
	3 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該表、当該図を示す。	官埋義務者 ②④ シンナー等の保管	・ 機械設備工事) の請負人を指名する。 シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管		貝の確認を受けなければならない。 6. 不履行に対する措置		(日) (日) (日) (日
3 図面に記載されている	ない各部は、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 建築工事標準詳細図(最新版)に準じる。		数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。		技術提案書に記載された内容について、請負人の責により入札時の提案内容が履行されない場合は、	事	その他:
章 項 目	特 記 事 項	②5 火気の管理 ②6 過積載防止の措置	喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。 請負人は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出する		次式により求めた点数を工事成績評定 (法令遵守等) において減点することとする。 なお、履行確認の対象とするのは、技術提案 (簡易な施工計画) および県産材の使用の有無とする。		搬出場所、受入条件等は発注時点のものであるため、施工計画や実施工程により確認し、監督職員に報告する。併せて、
1 施工基準	本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書を含む図面 84葉、標仕により完全に施工する。		こと。		ullet各着目点の不履行による減点数 $=lpha imeseta imes3$		近隣の受入先を調査の上、搬出場所、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、搬出場所について協議するもの
$ 1\rangle _{\odot}$	上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。 (1.1.1)	②⑦ 騒音振動の防止	請負人は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程(平成13年国土交通省告示第487号)」に基づき		α:減点係数(表1のとおり)	(V) 100 = 1	とし、必要に応じて設計変更の対象とする。搬出後、監督職員へ搬出場所での受入を証明する資料を提出する。
2 完成図	完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原図、CADデータおよび焼付製本(縮小版A4サイズ) 3部を提出するものとする。なお、標仕の表1.7.1の完成図に本特記仕様書を加えたものとする。	(28) 施工条件	指定された建設機械 ('97ラベル) を使用すること。 次に指定する工程・作業は指定の日時に行うこと。 (1.3.5)		β: 受注者の各着目点の加算点数(ただし、技術提案において加算点評価されなかった内容についてはβ=0.2とする。) ●工事成績評定における減点数=各着目点の不履行による減点数の総和	② 埋戻し及び盛土	材料及び工法 (3.2.3) ※(表3.2.1) による
	(1. 7. 1, 1. 7. 2)	,	工程・作業 指定日時		※「各着目点」は発注者が設定する着目点をいう。また、「県産材の使用」については評価項目単位とする。		種別
銀 3 保全に関する資料	保全に関する資料は標仕により作成し、監督職員に指示された必要部数の原本、複写図および電子データを提出するよのとする。なお、作成に際しては、国土充済条件成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引	(20) #¥ 444 +> +=	コンクリート撤去工事及び騒音工事 まちづくりセンター休館日(月曜日及び第1,3日曜日)		表 1 : 減点係数 (α)		 ・ A種 適用場所(・ D種 適用場所(
#	提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。 (1.7.3)	② 軽微な変更	設計図書に明記なくとも機能上、構造上当然必要と認められる軽微な変更および追加工事においては、 請負金額の増減対象としない。		50%未満 1. O 50%以上 75%未満 O. 6		(・) B種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () () () () () () () () () (
共 4 _{工事写真}	工事管理写真はカラーとし、その内容が明確に判別できるものとする。デジタル写真とする場合、使用する	30 低入札価格調査	(1)配置技術者の増員		75%以上 90%未満 O. 3		• D種 適用場所 ()
通	デジタルカメラの総画素数は300万画素以上、記録画素数は640×480画素以上とする。 区分 分類・規格 撮影箇所 部数 備考	制度に基づく措置	建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した 場合において、監理(主任)技術者とは別に、入札公告に定める監理(主任)技術者の要件と同一の				品質 細粒分(75 µ m以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。 適用場所(
	区分 分類・規格 撮影箇所 部数 備 考 着工前 サービス版 ・9・30 1 状況によりつなぎ写真		場合において、監理(主任)技術有とは別に、入れ公合に定める監理(主任)技術有の要件と同一の 要件を満たす技術者を専任で1名現場に配置しなければならない。		次美観を計画対象とした現場化理人の従事期间における減点保奴は、以下のとおりとする。 <加算点評価の対象となった現場代理人の従事>		・材料() 工法()
 _	工事中 サービス版 ⑥ 6 · 9 · 30 1 必要に応じ撮影する		なお、当該技術者は、監理(主任)技術者を補助し、監理(主任)技術者と同様の職務を行うもの		技術提案書に記載した現場代理人が、工期内で途中交代した場合、全体工期に対して従事していた期間により		
項	完成時 サービス版 ・ 3 ・ 6 ・ 9 ・ 12 3 完了届提出用 定期提出 サービス版 ・ 3 ・ 6 ・ 9 1 1 工事月報用		とする。 また、当該技術者を求めることになった場合には、その指名その他必要な事項を監理(主任)技術者		履行率を求め、減点係数 (α) を設定し減点する。 <加算点評価の対象とならなかった現場代理人の従事>	1 支持地盤等	(3. 2. 1) (4. 2. 4) (4. 3. 4, 5) (4. 4. 4) (4. 5. 5, 6) •杭基礎
	竣工写真 ② サービス版 ・ キャビネ版 ・ 3 ・ 5 ① 7 2 主として外観		と同様の方法により届け出ること。		減点の対象とはしない。	116	支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む。)
	サービス版 ・ ① 15 ・ 20 2 主として内観		(2)施工体制台帳および施工計画書にかかる内容の説明		※県産材の使用における減点係数は、以下のとおりとする。	地	・図示
	竣工写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をJPEGとし、CD-ROMにて提出すること。		建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した 場合において、請負人は施工体制台帳および施工計画書の提出に際して、監督職員からその内容の		<加算点評価の対象となった資材> 完了時の使用数量に占める県産材使用量が50%を下回った場合にのみ、減点係数 (α) を「1.0」とし減点する。	業	●直接基礎支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む。)
	工事写真の撮影要領は、「工事写真の撮り方・建築編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。		説明を求められたときは、応じなければならない。		ただし、提案のあった県産材使用量以上の利用が合った場合や真にやむを得ない理由と認められる場合はこの限りでない。	エ	○図 示
	完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。 工事写真キャビネ版はアルバム台紙に、サービス版		(3)材料、下請負代金等の支払い状況等の説明		<加算点評価の対象とならなかった資材>	車	試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・行う
5 技術検査	は工事写真帳に貼り付けて提出すること。 工事施工途中において、適宜中間技術検査を行う。 (1.6.2)		建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した 場合において、毎月の下請負代金の支払い状況が確認できる資料を履行報告に追加して提出すること。		減点の対象とはしない。 7. 契約変更の取り扱い	할 	・行う 位置等 ・図示 ・行う・行う
⑥ 工事実績情報の登録 (CORINS)	契約、変更、完成時のそれぞれ10日以内に登録すること。 (1.1.4)		また、監督職員から材料費、労務費、下請負代金、その他経費(以下「経費等」という。)		(1) 請負人が作成する施工計画書のうち、技術提案に係る資料については、発注者が確認するが、請負代		・地盤の載荷試験
(7) 施工体制	受注者は、公共工事入札契約適正化法に基づき施工体制台帳の写しを提出すること。		の支払いの状況について説明を求められた場合は、これまでに要した経費等の支払いを確認できる資料 ならびに今後必要とする経費等とこれにかかる資金の調達方法の資料を提示するとともに、それらの		金額の変更は行わない。 (2) 不可抗力(地震・風水害等)によって、地形が変形し数量に変更があった場合は、発注者と請負人が		載荷試験の方法 ①地盤工学会基準 JGS 1521による 試験の位置、載荷荷重 ①図示
7 NE Z PA III	また、市担当者から施工体制の点検を求められたら対応し、指摘がある場合は是正すること。		内容について説明を求められた場合は、応じなければならない。		協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。	2 既製コンクリート	種 類 (4.2.2)(4.3.1,3~6,8)
8 現場代理人等	イ「長浜市現場代理人の常駐に関する運用基準」に従い、現場代理人を決定し届け出ること。		(4)工事コスト調査への協力		(3) 現場条件、関係機関との協議、社会的条件(地元対応等)によって、新たな対策や施工体制の変更が	杭地業	・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
	ロ 現場代理人は、請負人との直接的な雇用関係を証するもの(健康保険証の写し等)を 「現場代理人等届」に添付すること。また、「現場代理人等変更届」も同様とする。		請負人は、建設工事等入札執行要領第17条第1項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で 落札した場合においては、工事コスト調査に協力しなければならない。	(33) 施工体制点検	生じた場合には、発注者と請負人の協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に従い、施工体制を講じること。		・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
	ハ 主任(監理)技術者も同様の確認を受けなければならない。		(概要は県ホームページ:http://www.pref.shiga.jp/h/d-kanri/kensetsu_low/index.htmlを参照のこと)	③4) 設計 G L	※ 図示・監督職員が現場にて決定する。		SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
9 提出図書	二 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。 ※施工計画書 提出部数 ※1部 (1.2.2)		・元請者は、下請者の協力を得て、間接工事費等諸経費動向調査票(建築工事においては共通費実態調査票) の作成を行い、完了届提出後1週間以内に発注者に提出するものとする。なお、調査票等については、	(35) 揮発性有機化合物 の室内濃度測定	平成18年国土交通省告示第1130号に基づく「評価方法基準 第5 6-3 (3)」に定められた方法によること。 測定箇所: 各居室 (監督職員の指示により決定) (1.5.9)		杭の種類、性能及び曲げ強度区分(種別)、寸法、継手の箇所数等
提出因音	※施工図		別途、監督職員から指示するものとする。	の主内辰及原た	測定化学物質 ・ 本ルムアルデ・ヒト ・ ・ ・ トルエン ・ ・ キシレン ・ ・ エチルヘ ンセ・ン ・ スチレン ・ ・ パ・ラジ・クロロヘ・ンセ・ン		種類 コンクリート 杭径 厚さ 杭長 とり とり とり 横 考 (M/4) は (M/4) 備 考
	※完成図 提出部数 ※1部(A3版縮小製本及び電子媒体) (1.8.2)		・請負人は、間接工事費等諸経費動向調査票等について、費用の内訳についてヒアリング調査に	③⑥ 不法無線局の排除	請負人は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、		種別 強度 (N/mm2) (mm) (mm) (mm) 持力 (kN/本) 持力 (kN/本)
(10) 技術管理	※保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・ 部 (1.8.3) 請負人は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。	 31 契約後VE方式に	応じるものとする。この場合において、元請者は、下請者についてもヒアリングに参加させるものとする。 1. 定義	(37) 取扱説明書の作成	不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。 竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。 (1.7.3)		試験杭 中杭
	① 技術者の専任を要しない期間	関する特記事項	VE提案とは、契約書第19条の2の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能を低下さ		(部数、詳細については、監督職員の指示による。)		下杭
	・ 請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者または監理 技術者の工事現場への専任は要しない。		せることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、請負人(以下「乙」という。)が発注者(以下「甲」という。)に行う提案のことをいう。	③8 近隣住民等への説明 ③5 近隣家屋の調査	請負人は、施工に先立ち地元自治会、こども園、近隣住民等に工事施工内容の説明を行うこと。 請負人は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋・工作物等の調査を実施し、工事に起因する		本杭 中杭
	及何者の工事現場への専任は要しない。 → 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等		1 1 1 1 2 1 1 1 1 1	四州豕座の調宜	請負人は、工事の着手削およい元子後に、図示部分の近隣家屋・工作物寺の調査を実施し、工事に起因する 損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。		下杭
	が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。		(1) 乙がVE提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係る		また、請負人自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。		杭先端部形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形
	なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ② 長浜市建設工事請負契約約款(以下「契約約款」という)の規定に基づく検査を完了した日		変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。 (2)以下の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。	(39) ユニハ゛ーサルテ゛サ゛イン (40) 別途工事との	バリアフリー化にあたっては、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」を遵守すること。 請負人は、別途施工する電気・機械設備工事の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工		工法 ・セメントミルク工法
	から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。		①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴うもの。	連絡協議	上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて		試験杭
	なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款に基づく当該検査の結果を通知した日とする。 また、日程の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期満了後の監理技術者等の工事		②契約書第18条にもとづき条件変更が確認された後の提案。 3. VE提案書の提出	(41) 不当介入に関する	協議を行い連絡を密にすること。 1. 受注者は暴力団員等による不当介入(不当な要求又は業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを		試験杭の位置・・図示による(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	また、日程の都台上、契約工期減了後に検査が行われる場合は、契約工期減了後の監理技術者等の工事 現場への専任を要しない。		3. VE提案書の提出 (1) 乙はVE提案を行う場合は、次に掲げる事項をVE提案書(様式1~4)に記載し、甲に提出しなけ	通報制度	1. 受注者は暴力団員寺による不当介人(不当な要求又は業務の奶害)を受けた場合は、断固としてこれを 拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力		掘削深さ ・図示による (・ ・) ・ ・ 杭の支持層への根入れ長さ ・図示による (・ ・)
11 技能士	各工種の作業については、極力技能士の資格を有する者に作業をあたらせること。 (1.5.2)		ればならない。		を行うものとする。		杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下
	また、請負人は、〇印のついた工事種別および技能検定の職種について、職業能力開発促進法による一級 技能士または単一等級の資格を有する者を、1職種1名以上該当工事作業中工事現場(資材製作加工の場合は		①設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比および提案理由。 ②VE提案の実施方法に関する事項。(当該提案に係る施工条件等を含む)		2. 受注者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書により、監督職員に 報告するものとする。また、請負者は、以下のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に		建込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内 ・ ・特定埋込杭工法
	製作所)に常勤させるとともに、作業に先立ち事前にその氏名等を監督職員に届け出なければならない。		③ VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額および算出根拠。		報告するものとする。また、調質者は、以下のことにういて、下調質人(再要託の励力者を含む)に 対して、十分に指導を行うものとする。		・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法
	・ 仮設工事(とび) ・ 鉄筋工事(鉄筋) ・ コンクリート工事(・型枠 ・コンクリート圧送)		④甲が別途発注する関連工事がある場合は、それとの関係。		3. 受注者は暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、		・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうち
	 鉄骨工事(構造物鉄工) ・コンクリートブ・ロック/ALCパネル工事(・CB積・ALCパネル施工) 防水工事(・7スファルト防水 ・ 合成コ゚ムシート防水 ・ ウレタンコ゚ム系塗膜防水 ・ アクリルコ゚ム系塗膜防水 ・ FRP系防水 ・ シーリンク゚) 		⑤工業所有権等の排他的権利を含むVE提案である場合、その取扱いに関する事項。 ⑥その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項。	 42) 石綿含有建材の事前	監督職員と協議するものとする。 1. 石綿障害予防規則および大気汚染防止法に基づき、石綿に係る事前調査結果の報告(石綿事前調査		$lpha$ 、 eta 、 γ が下記の値を採用できる工法 $lpha$ = ()、 eta = ()、 eta = ()
	・ 石工事(・石張り ・ 石積み ・ 石材加工) ・ タイル工事(タイル張り) ・ 木工事(建築大工)		(2)甲は、提出されたVE提案書に関する追加資料、図書その他の書類の提出を乙に求めることができる。	調査制度	結果報告システム等を利用)を行うこと。(報告先:労働基準監督署、県環境事務所)		工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀り拡大根固め工法
	・屋根及びとい工事(・屋根金属薄板葺きおよびとい設置 ・ かわらぶき ・ 石綿スレート葺き) ・金属工事(鋼製下地) ・ 左官工事(・金こて仕上、FMタM塗り、吹付 ・ 断熱硬質ウレタンフォーム吹付)		(3) 乙は、V E提案を契約の締結日より、当該 V E提案に係る部分の施工に着手する 3 5 日前までに提出できるものとする。		2.調査結果は公衆の見やすい場所に作業開始前に掲示すること。 掲示板サイズ : A3サイズ(42.0cm×29.7cm)以上		杭周固定液 ・使用する ・使用しない 試験杭
	・ 金属工事(鋼製ト地) ・ 左目工事(・ 金) では上、th/yh/空り,吹竹 ・ 断熱便負リレタノフォーム吹竹) ・ 建具工事(・ サッシ施工 ・ が 5 入加工取付 ・ 木製建具加工取付 ・ 自動ドア取付) ・ 塗装工事(塗装)		(4) VE提案の提出にかかる費用は、乙の負担とする。		ろのではある。		試験杭の位置・図示による(・・
	・ 内装工事(・ 表具 ・ 壁装 ・ 畳製作施工 ・ プラスチック系床施工 ・ カーペット系床施工 ・ カーテン施工 ・ ポード仕上)		4. VE提案の審査		4. その他 - 調本符用 - 〇 W 計作工符用		杭の支持層への根入れ長さ ※評定等の評価内容による
(12) 建築材料等	・排水工事(配管) ・ 植栽工事(植栽) ・ 外壁改修工事(樹脂接着剤注入施工) 建築材料等は、極力市内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。		VE提案の審査は、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。 5. VE提案の採否等		調査範囲 ・当該施工範囲・図示 貸与書類・建設当初図面・ ・ ・五綿調査報告書		杭の精度 水平方向の位置ずれ ※評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ※評定等の評価内容による
	ただし、同等品以上とする場合は監督職員の承諾を受けること。		(1) 甲は、VE提案の採否について、VE提案の受領後14日以内に書面により通知するものとする。	43 環境配慮指針	公共建築に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出しなければならない。		杭の継手の工法
	工事施工に必要な建設用資材や建設機械を購入又は借入れする場合は、極力地場調達されるなど、施工にあた っての配慮を行うこと。		ただし、乙の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。 (2)提出されたVE提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。	44 設計図面	落札業者は工事に先立ち、製本A2(A1二つ折り)1部、A4(A3二つ折り)縮小版 6部 を作成し 提出すること。(いずれも工事名称入りとする)		・アーク溶接継手 溶接材料 ・ (7.2.5(1)(2)) による ・
	っての配慮を行うこと。 工事で使用する各種塗料類、接着剤類、その他の材料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。		(2) 提出されたVE提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。 (3) 甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第19条の2の規定に基づくものとする。	45 申 請 届 出	提出すること。 (いすれも工事名称人りとする) 工事に必要な各種申請業務は、すべて請負人の責任において申請を行うこと。		
	あわせて、その他室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策として、その原因となる物質の含有量が低濃度で		(4) 甲は、VE提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第24条の規定により請負代金額の変更		又、その費用は一切請負者負担とする。		工法 ※評定等を受けた工法
	ある材料を極力選定する。(標仕を参考とすること。) (1.4.1) さらに、環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。		を行うものとする。 (5)前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5		こども園 園庭倉庫新設に伴う、計画通知及び各種申請業務は本工事にて行うこと。ただし、計画通知の 手数料は不要とする。		杭頭の処理等 ・処理する
	(1)グリーン購入法に基づくエコマーク商品		(6)VE提案が適正と認められた後、契約書第18条の条件変更が生じた場合において、甲				処理方法(切断にともなう補強方法含む。) ・図示
	(2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料		に相当する金額(以下「VE管理費」という。)を削減しないものとする。				・処理しない
							杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・
					=n.=1 +	m = 5 %	
				神	田まちづくりセンター改築工事 (建築) □設計者 □級建築士	図面名称	SCALE DATE SIGN SHEET No. A1 (A3) 令和5年6月
特記			備 考	I al I a A	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 登録 第169646号	中村 一 特記仕	A A
				株式会社	ヤスザワ設計 -級建築士		
l	I			1		<u> </u>	

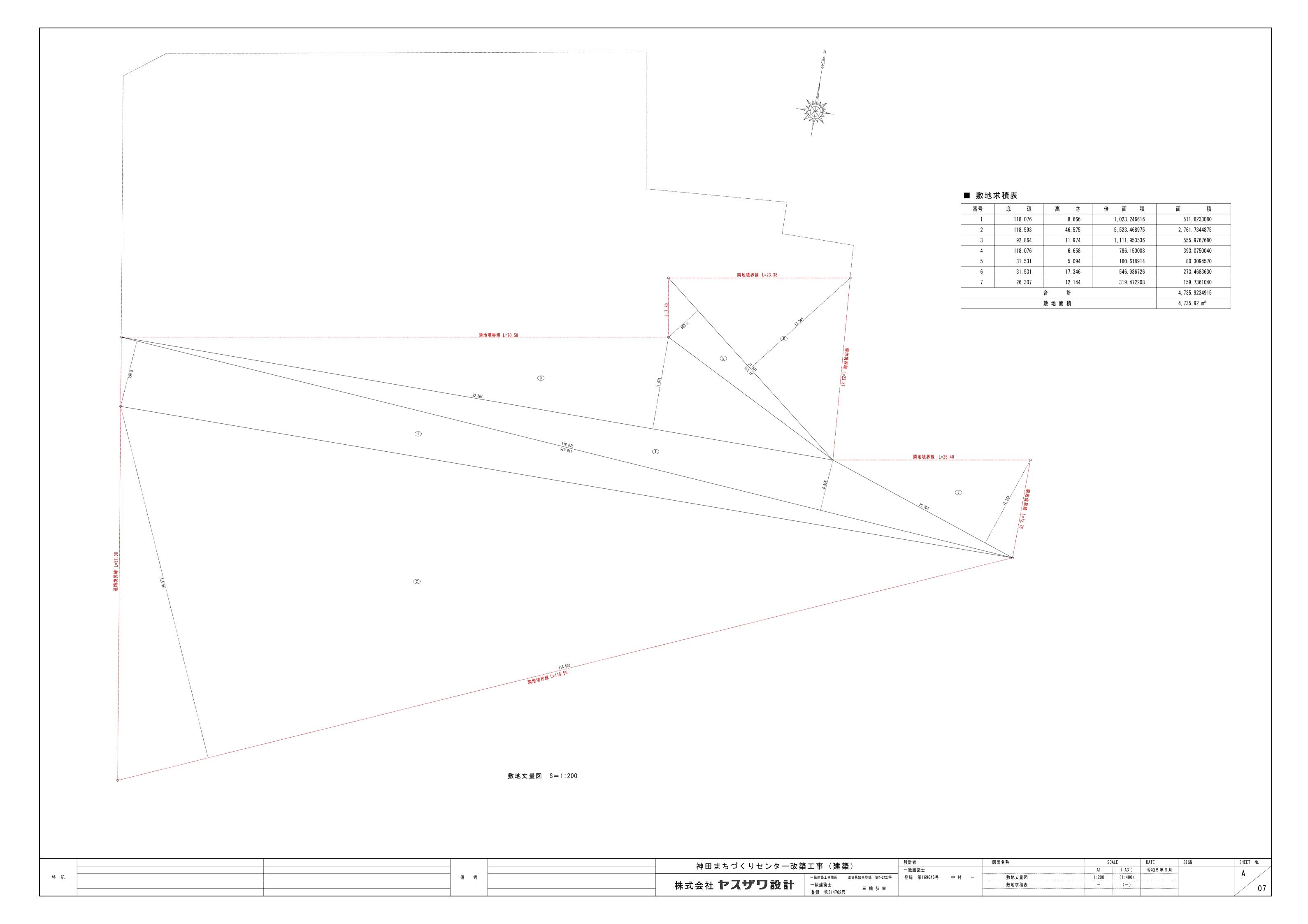
<u></u>								
③ 砂利地業	材料 ※再生クラッシャラン G ・切込砂利 ・切込砕石 (4.6.2,3) 砂利厚さ ※50mm ※100	9 溶接継手	適用箇所 ・図示による () ・ (5.6.3) H12建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級 ・	(7) 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3) ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場	(18) 溶接部の試験	平12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7. 6. 12) ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(独立行政法人 建築研究所)」	
	範囲 ※基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・図示による()		溶接継手の工法 ・図示による () 鉄筋相互のあき		又は同等以上の能力のある工場 (M)グレード以上		(3.5.2) による受入検査 ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②	
地 ④ 捨コンクリート地業	範囲 ※基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示による () (4.6.4)		・ (5.3.5(4)) による	鉄	・監督職員の承諾する工場		JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等	
業	厚さ ※50mm ・ 設計基準強度 ※18N/mm2		・評定等の評価内容による・図示による(骨 ② 鉄骨製作工場における 施工管理技術者	3 ※配置する (7.1.4)		・JASS6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の 外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべ	
	スランプ ※15cm又は18cm ・		施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験	工 ③ 鋼 材	種類等 (7.2.1) 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格		て (7.6.13) による補修を行い、再試験する。 完全溶込み部工場溶接の場合の超音波探傷試験	
事。	範囲 ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く。)		対象 ※全数	事	BCR295 柱 ・・・・ DJISによる		· AOQL (平均出検品質限界) ※4.0% · 2.5%	
6 地盤改良工法	種類及び施工方法等 ・ 構造図による		試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による		SN400B 大梁 ⊙JISによる SS400 小梁 ⊙JISによる		節 ・全て ・ 検査水準 ※第6水準 ・	
	柱状改良 参考工法 : ① SSコラム工法、② ウルトラコラム工法、③ コラムZ工法 (工法①を構造計算の代表とし、工法②③採用の場合は「構造検討書」作成の上、計画通知関係機関		・超音波測定試験 試験対象	(4) 高カボルト	SSC400、STKR400 母屋、胴縁 ・JISによる 高力ボルトの種類 (7. 2. 2)(7. 3. 2)(7. 4. 2)(7. 12. 5)	(19) 錆止め塗装	塗装の範囲 (7.8.2,4)(18.3.2)	
	(構造判定含む)の承認を得ること。)		・抜取り		・トルシア形高力ボルト	19 新正の至表	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲・図示による() 全ての範囲	
人 残土処分	地盤改良における発生残土は、場外搬出適切処理のこととする。		ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする		● JIS形高カボルト ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等		耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ (7.8.2(1)(7)~(オ)) ・図示による () ・	
(5) (1) 鉄筋	鉄筋の種類等 (5.2.1) 種類の記号 呼び径(mm)		試験箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・全数		※構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 ・図示による ()		塗料の種別 ・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による	
	○ SD295		試験項目 ※内部欠陥の検出		摩擦面の処理方法		・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別	
鉄	○ SD345		試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による		○ (7.4.2(1)) による・すべり試験の実施(対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況の確認をする)		※A種 ・耐火被覆が接着する面の塗料の種別	
筋	鉄線の形状等 (5.2.2)		不合格となった場合の措置	(5) 普通ボルト	・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 ボルト及びナットの材料等 (7.2.3)(7.3.2,8)	② 耐火被覆	種類、材料、工法等 (7.9.2~8) 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分)	
エ	種 類 網目の形状、網目、寸法、鉄線の経 (mm) 使 用 部 位 ・溶接金網 6Φ 100×100 丸鉄線 保護コンクリート	(1) コンクリートの種類	コンクリートの類別 (6.2.1)		○(表7.2.3 (JIS附属書品)) 又は次による。ボルトの規格は、JIS B 1180とする。		・・ 乾式吹付けロックウール ・・ 乾式吹付けロックウール ・・ ・ ・ ・ ・	
事	○ 容接金網 6Φ 150×150 丸鉄線 コンクリート舗装		※I類 · π類		ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。		・湿式ロックウール	
	· 鉄筋格子	(2) コンクリートの 気乾単位容積質量 による種類及び	(6. 2. 1~4)(6. 3. 2)(6. 10. 1, 2) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。 なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。			
③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4)(5.5.3)(5.6.3) 部位 継手の方法 呼び径(mm)	はなる性類ない。	設計基準強度 (N/mm2) スランプ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m3) 適 用 箇 所 (・)24 (・)15 2.3程度 基礎、基礎梁		ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナットーCとし、材料は、鋼製とする。		・耐火板張り ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・	
	柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	7	○24 ○18 2.3程度 立上、デッキ ○21 ○18 2.3程度 ±間		座金 ※JIS B 1256による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等		・耐火材巻付け・高断熱ロックウール	
	耐力壁の鉄筋 ・ 重ね継手 ・	J	○18 2.3程度 捨てコン、外構		※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-1 縁部距離及びボルト間隔		・ラス張りモルタル _	
	その他の鉄筋(土間、立上筋、補強筋) ・ 重ね継手・ ・ 継手位置		構造体強度補正値 ※ (表6.3.2)による・ ・軽量コンクリート		・図示による () 母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・		塗り ・耐火塗料	
	※構造関係共通事項(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1 ・図示による()		設計基準強度 (N/mm2) スランプ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m3) 種類 適用箇所 ・ 21 ・ 1種 ・ 2種	6 溶融亜鉛めっき 高力ボルト	ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)(7.4.2)(7.12.5) ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1	②1) アンカーボルト 等の設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示 (7.10.3) 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示	
	柱及び梁主筋の重ね継手の長さ		構造体強度補正値 ※ (表6.3.2)による		・図示による()		建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法	
	<td c<="" color="1" rowspan="2" td=""><td>③ セメント</td><td>種 類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント</td><td></td><td>摩擦面の処理方法 ・ ・ ブラスト処理(表面粗度50¥U+339BRz以上) ・ りん酸塩処理 ・ すべり試験の実施</td><td></td><td>種別・A種・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別</td></td>	<td>③ セメント</td> <td>種 類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント</td> <td></td> <td>摩擦面の処理方法 ・ ・ ブラスト処理(表面粗度50¥U+339BRz以上) ・ りん酸塩処理 ・ すべり試験の実施</td> <td></td> <td>種別・A種・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別</td>	③ セメント	種 類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメント		摩擦面の処理方法 ・ ・ ブラスト処理(表面粗度50¥U+339BRz以上) ・ りん酸塩処理 ・ すべり試験の実施		種別・A種・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
	※構造関係共通事項(配筋標準図)3.1(a) ・図示による ()			A種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 適用箇所()		・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(7)又は(4)による摩擦面の確認は、		厚 さ 種別 ※A種 B種
④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着の長さ (5.3.4) ※構造関係共通事項(配筋標準図)3.1(b)		・高炉セメントB種 G 適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 G 適用箇所 ()	(7) アンカーボルト	本試験で作成した対比試験片で行うこと (7. 2. 4)(7. 3. 2)	② 軽量形鋼構造	ボルトの接合方法 ・ 普通ボルト接合 (7.11.2)	
	・図示による ()	4 骨 材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)	_	種類 · ABR400 · ABR490 · SNR400B			
	機械式定着工法・適用する	⑤ 混和材料	※A · B ○昆和剤 (6. 3. 1)		・建方用アンカーボルト種類 ・SS400	8 外壁材	材料 : 窯業系サイディング 塗装品 (国土交通大臣 不燃材料認定品) 厚 : 厚さ 16mm	
	適用箇所 ・図示による ()		混和剤の種類 ※ (6.3.1(4)(a)) による・混和材		アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※ (表7.2.3) による		工法: 横張(一部竪張)、通気金具止工法 下地: 耐風透湿防水紙下地	
	種類		混和剤の種類 ※ (6.3.1(4)(b))による ・		・(7.2.4)以外のアンカーボルト	74	下見切: カラーガルバリウム鋼板製通気型水切り	
	・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定	6 寒中コンクリート	適用期間 ・図示 (6.11.1,2) 構造体強度補正値		・凶ホによる ()	麦	耐火仕様: 外壁1時間耐火仕様 GB-F t15mm2重下地張 (ヨコ張り仕様) ※ タテ張り部分は、GB-F t15mm 2重下地張の内壁側にロックウール吹付 t25mmとする。	
	工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする		・ (6.11.2(3)(7)) による ・積算温度による		種類 • SS400	工 ② 付柱他	材料 : 窯業系サイディング 塗装品 (国土交通大臣 不燃材料認定品) サイズ : 厚さ 17mm 巾 図示による	
	必要定着長さ ※評定等の評価内容による	7 暑中コンクリート 8 マスコンクリート	構造体強度補正値 ※6N/mm2 ・ 適用箇所 ・図示による () ・ (6.12.2)		アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※ (表7.2.3) による・・	事		
	補強筋形状		セメントの種類 (6.13.1,2)		ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等・図示による()			
	※評定等の評価内容による かぶり厚さ		・普通ポルトランドセメント ・中庸熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G	8 溶接材料 9 ターンバックル	溶接材料 ① (7.2.5(1)及び(2)) による ・ (7.2.5) 種類 (7.2.6)			
	※評定等の評価内容による 品質確認		・フライアッシュセメントB種 G ・シリカセメント 混和材料		建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・	1) 合成高分子系	防水層の種別 (9.4.2~4)	
	※評定等の評価内容による 検査		・混和剤 混和剤の種類 ※ (6.13.2(2)(7)) による	(10) 床構造用の	ねじの呼び ・図示による () ・ 材質、形状及び寸法 (7.2.7)(7.7.8)	9 ルーフィング シート防水	一	
	※評定等の評価内容による		• 混和剤	デッキプレート	適用箇所 材質・形状・寸法 備 考	t a		
(5) 鉄筋のかぶり 厚さ及び間隔 (溶接金網を含む。)	最小かぶり厚さ (5.3.5) ※構造関係共通事項 (配筋標準図) 4.1		混和剤の種類 ※ (6.13.2(2)(4)) による・ スランプ ※15cm		・デッキプレート 単独の構法	vk	・ル−フィングシ ※ル−フィングシ ・適用する -トの製造 -トの製造	
(合按並納を含む。)	・図示による (・軽量コンクリートを適用		構造体強度補正値 ※ (表6.13.1) による コンクリートの種類 ※普通コンクリート (6.14.1)		○デッキプレートと 陸屋根 QLデッキ H50 t1.2 ・ コンクリートとの合 山上コンクリート t80 ・	т	· S-F1	
	適用箇所(・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm		セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は		成スラブとする構法	<u>-</u> 主	・ S-F2 ・ 適用する	
	・耐久性上不利な箇所(塩害等を受けるおそれのある部分等)		フライアッシュセメントA種		開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。)・図示	# 	・ルーフィング・シ ※ルーフィング・シ ・適用する	
	適用箇所(・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm		・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G 設計基準強度 ※18N/mm2 ・		鉄骨部材への溶接方法 ・図示による () 耐火認定 ・あり 耐火時間 ・図示		-トの製造 -トの製造 -トの製造 所の仕様 所の仕様	
6 各部配筋 (7) ガス圧接継手	各部配筋 ※図示による() (5.3.7) 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)		スランプ ※15cm又は18cm ・ 適用箇所 ※ (6.14.1(4)(7)~(カ)) による	(11) スタッド	・なし 種類等 (7.2.8)			
	※超音波探傷試験 ・引張試験	10 流動化コンクリート (11) 打継ぎの位置、	適用箇所 ・図示による() (6.15.1) 打継ぎの位置 ※(6.6.4(1))による (6.6.4)(6.8.1)		呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 ・16		・ S - M 2 ・適用する	
	試験方法等 ※ (5.4.10(4)(b)①~⑥)による・	打継ぎ目地、 打継ぎ目地、 ひび割れ誘発目地	・図示による(○16 ○19 ○30		・ルーフィング [*] シ ※ルーフィング [*] シ	
8 機械式継手	適用箇所 ・図示による () (5.5.2) H12建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級 ・		目地寸法 ※ (9.7.3(1)(7)) による ・図示による () ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による ()	12 柱底均し	<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>・ S I - F 1 ※発泡ポリエチ 標準仕様書9.4.2 -トの製造 所の仕様 レンシート (3) (エ) (b) 所の仕様 所の仕様</td></td>	<td></td> <td>・ S I - F 1 ※発泡ポリエチ 標準仕様書9.4.2 -トの製造 所の仕様 レンシート (3) (エ) (b) 所の仕様 所の仕様</td>		・ S I - F 1 ※発泡ポリエチ 標準仕様書9.4.2 -トの製造 所の仕様 レンシート (3) (エ) (b) 所の仕様 所の仕様
	種類・ねじ式鉄筋継手	12 構造体コンク リートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) 種別 適用箇所	モルタル (13) 製作精度	※ (7.2.9(2)(7)から(I)) による 鉄骨の製作精度は、JASS 6付則6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による (7.3.3)			(種類)
	充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式		· A種		通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建設省告示第1464号第二号イ(2)による・・		・ S I - F 2 (厚さ) (mm) ・ 適用する	
	・端部ねじ加工継手		・ B種 ・ C種		アンダーカットの寸法			
	・モルタル充填式継手 工法		コンクリートの仕上りの平たんさ		※H12建設省告示第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法		・ S I − M 1	
	※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき		種 別 適 用 箇 所 • a種	14 仮組	・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル(独立行政法人 建築研究所)」による 仮組を行う範囲・図示による() (7.3.10)		· SI-MI	
	※評定等の評価内容による		• b種	(15) 溶接作業を行う技能			※発泡ポリエチ ジ押出成形ポリスチレン系	
	品質の確認 ※評定等の評価内容による		· c種	16 溶接接合	開先の形状 (7.6.4,7)		● SI-M2	
	検査 ※評定等の評価内容による	(打放し仕上げ部)	●打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)(6.8.1)		※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-2 ・図示による()		S I - F 1, S - M 1, S - F 2, S - M 2	
	施工完了後の継手部の試験・外観試験		・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm		・鋼製エンドタブの切断する部分 ・見掛り部となる部分		※非歩行仕様 ・軽歩行仕様SI-F1、SI-F2、SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム	
	対象 ※全数	14) 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2)		・見隠れ部となる部分		・設置する・設置しない	
	試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による		・		・切断する部分なし 切断範囲		屋内防水 防水層の種別	
	· 超音波測定試験 試験対象		使用箇所・図示・ ・MCR工法用シート		・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、 切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。		保護層 種別 施工箇所 エリカリ 原 立上り部の	
	・抜取り		適用箇所 ・図示 ・ 打増し厚さ ・20mm ・		切断面の仕上げ ・ (7.6.7(1)(カ)(b)②) による ・ (入カラップの形状		平場の保護モルタル厚 保護モルタル塗厚 ・ ・ ・ ※ 7mm以下	
	・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする		打増し範囲 ・図示 ・		・構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4・図示による()		· S - C 1 · ·	
	試験箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・全数		スリーブの材種及び規格等 ・つば付き鋼管(外壁の地中部分等水密を要する部分) ・硬質ポリ塩化ビニル管(地中部分で水密を要しない部分)	(17) 入熱、パス間 温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4			
	試験項目 ※挿入長さ 試験方法		・溶融亜鉛めっき鋼管(嘔気以外の円形スリーブ) ・鋼管 押え金物の材質、形状及び寸法		・図示による () 適用箇所			
	※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による不合格となった場合の措置	(15) コンクリート の単位水量測定	実施要領 ・構造関係共通事項による()・ ・ ※構造体コンクリート		・図示による (・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部			
	Trongにはりた物ロV和国		☆福旦冲□ノソソート			网走力华	SCALE DATE SIGN SHEET No.	
A± =7			/# ± ±	祖	田まちづくりセンター改築工事 (建築) 設計者 一級建築士 ※2422日 ※242 ×242 ×2	図面名称	A1 (A3) 令和5年6月 Δ	
特 記				株式会社	1 フスサ り 設計 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第0-2423号 一級建築士 三輪弘幸	<u> </u>	±様書 2	
					登録 第314702号 — 無 弘 年			

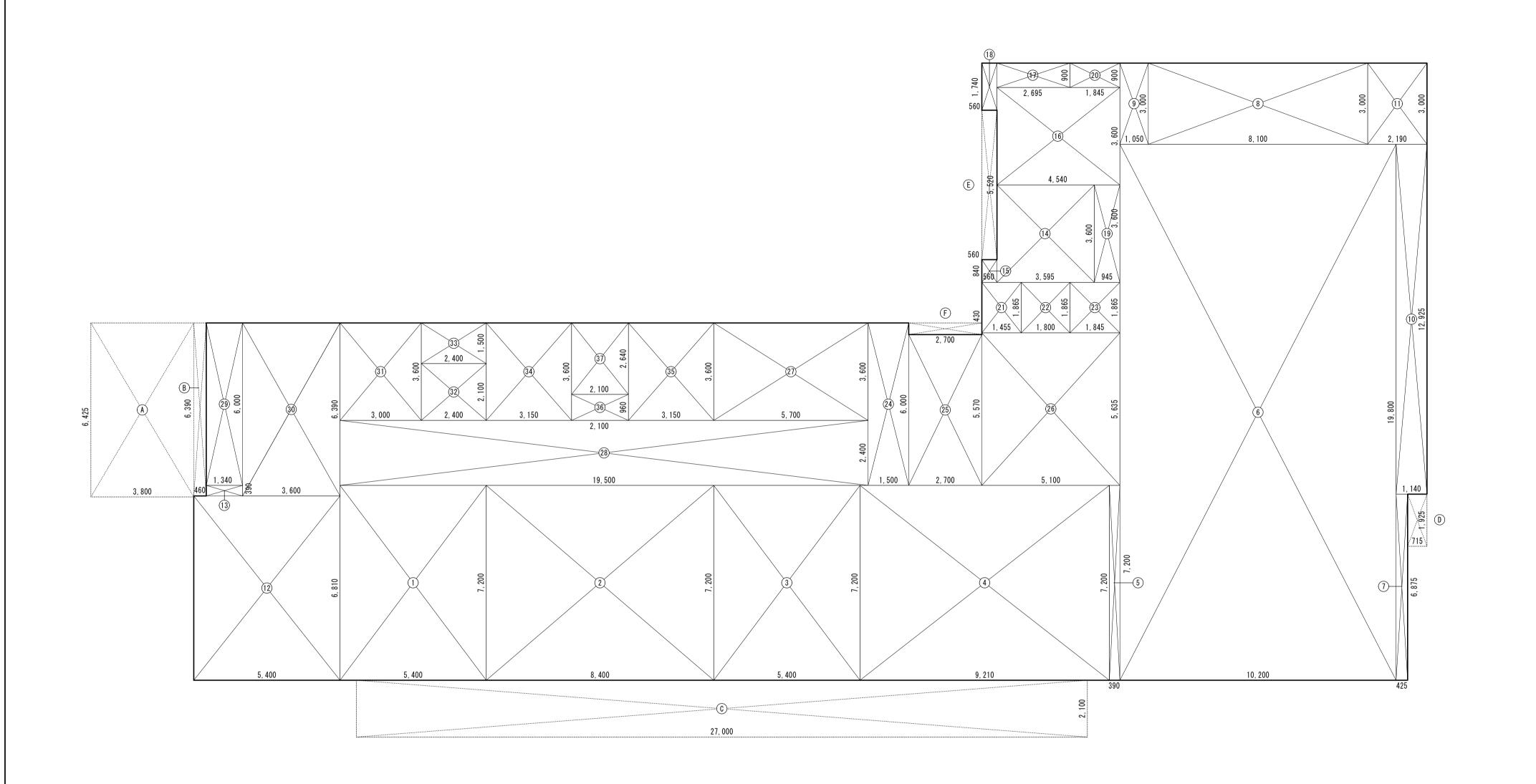
$ 9 ^{0}$	1) 合成高分子系 ルーフィング シート防水	平場のモルタル床塗りにおける床の目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度	3 床及び階段の 石張り	浸透性吸水防止剤 (10.6.2,3) (床石張り) (・適用する・適用しない		・JAS 1083 (製材) 以外の製材 施工箇所 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用		・MDFG
	シート防水	目地の種類 ※押し目地		石裏面処理 (床石張り) ①適用する ・適用しない		() ・適用する ・ A種 ・ B種		施工箇所 (mm) による区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分
防		合成高分子ルーフィングシートの種類及び厚さ ※表9.4.1から表9.4.3)による		(階段張り)・適用する ・適用しない 裏打ち処理 (床石張り) ○適用する ・適用しない		・適用しない (※A種・B種)		
水		JIS A 6008 に基づく種類及び厚さ		一般目地		() 。	6 接合具等	造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)
エ		種類 ・ <u>・</u> 塩化ビニル樹脂系シート 厚さ ・ 1.5mm以上		・目地モルタル (目地幅 ・) ・既調合の目地モルタル (目地幅 ・)		(※A種・B種) ・適用しない ・ 適用する ・ 適用する ・ 3.55 ・ 3.5		※隠し釘打ち ・釘頭埋め木
- 		固定金具の材質、形状及び寸法		シーリング材 (種類 ※ (表9.7.1) による・)		造作材の場合		・つぶし頭釘打ち
 		※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂 を積層加工したもの		(目地幅及び深さ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(3) 造作用集成材G	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)		・釘頭現し 諸金物
		•		位置 ※ (10.6.2(5)(a)) による ・図示による		施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用		※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
		接着工法の場合脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様		シーリング材の種類 ※ (表9.7.1) による ・ 目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・ 図示による				((表12.2.3~5)に示す程度の市販品 (表14.2.2)のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質:)
		設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様・・ (個)	4 笠木、甲板等 の石張り	取付け工法 ・湿式工法 ・乾式工法 (10.2.2)(10.7.1,3)		※1等 · 2等	⑦ 接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (12.2.2,3)
		接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う(・図示による ・)	の _行 が成り	特殊部位用金物 材質 ※SUS304		・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	 8 防腐・防蟻処理	※F☆☆☆☆ ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1,2)
		プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)		寸法 引金物 ・ ※ (表10.2.3) による		施工箇所 樹種 寸法(mm) 厚さ(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用		適用部材 保存処理性能区分
		・行う(・図示による ・) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け		だぼ ・ ※ (表10.2.3) による かすがい ・ ※ (表10.2.3) による		化粧薄板:杉 ※1等・2等 ・		· K 2 · K 3 · K 4 · K 2 · K 3 · K 4
		1章 適用区分による風圧力の(・1 ・)倍の風圧力に対応した工法		受金物・ ※ (表10.2.2(1)(イ)) による		化粧薄板: ※1等 · 2等		· K 2 · K 3 · K 4
	② 塗膜防水	防水層の種別 (9.5.3)(表9.5.1,2 仕上塗料 高日射反射率防力		乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等 ファスナー		心 付:		・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
		種別 施工 固所 種類 使用量 保護層 の適用 G	_	※ (表10.2.4) に準ずる (方式:・スライド方式 ・ロッキング方式) ・図示による				※薬剤の製造所の仕様による ※JIS K 1571に適合又は同等品
		· X-1 ※主材料の製 ・適用する		あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法		・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1) 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用		· · · 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理
		·		石裏面処理 ・適用する ・適用しない		※15%以下 ・		適用部位(
		・ ※主材料の製 ・ ※直析料の製 ・ 適用する		乾式工法の場合の取付け代 ※70mm 程度 ・				・合板等の加圧注入処理等適用 適用部位()
				目地		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材	9 内部間仕切軸	・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.4.1)
		· Y-1 ※地下外壁防水		一般目地 ・目地モルタル (目地幅 ・)		施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の 見付け材 含水率 間伐材等の適用 厚さ(mm) 面の品質	組及び床組み	※杉又は松 ・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
		・ Y-2 ※屋内防水 ・適用する		・既調合の目地モルタル (目地幅・)		和室 造作材 化粧薄板:杉 図示による 0.7 ※15%以下・・・・		※杉又は松・・
		・適用しない ウレタンゴム系塗膜防水 X - 1 の脱気装置の種類及び設置数量	-	・シーリング材 (種類 ※(表9.7.1)による ・) (目地幅及び深さ ・)		心材:杉	② 窓、出入口 その他	・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.5.1) ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
		種類 ※主材料の製造所の仕様		伸縮調整目地		芯材: ※15%以下 ・	11 床板張り	・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.6.1)
		設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ・ 個		位置 ※ (10.6.2(5)(a))による・図示によるシーリング材の 種類 ※ (表9.7.1)による		化粧薄板: ※15%以下 ・ ・	 12 壁及び天井	※ひのき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	3 ケイ酸質系塗布防水	防水層の下地 (9.6.4) (表9.6.1)	目地寸法・図示による	④ 造作用単板積層材G	・JAS 0701 に基づく製材造作用単板積層材 (12.2.1)	下地	※杉又は松・・
		壁 (※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) ・) 天井部(※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種) ・)			(11. 2. 2, 6)	施工箇所 品名 寸法(mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用	(13) 木材の支給	木材は、長浜市から支給された材を使用する。支給品は下記のとおり。 取引場所:長浜市余呉町東野地先
		下地処理	1 伸縮調整目地	位置 ※ (表11.1.1) による・図示による (11.1.3) (表11.1.1)		適用する		・木材の状況として腰板は粗挽き、他はKDモルダーとする。
		コンクリートの打継ぎ箇所の処理 ※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、	【11】 及びひび割れ 誘発目地	目地寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・適用しない ・適用する		・木材の加工は請負業者とする。 ・木材引渡し時期は令和6年3月頃とする。
		ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。	2 見本焼き試験	見本焼き ・行う(施工箇所:) ①行わない (11.1.4)		· 適用しない		14枚 14枚
		・図示による ・	が 施工 (3) セメントモル	試験張り ・行う (範囲、仕様等は図示による) ①行わない タイルの形状、寸法等		●JAS 0701 以外の造作用単板積層材		日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本
		(9.6.4(2)) の(1)、(ウ)以外の下地処理	タルによるターイル張り	吸水率に うわぐすり 役物 色 耐凍害性		施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用		多目的ホール 巾木 杉材 上小 4 60 21 本 16
	4) シーリング	・図示による 下表以外は、(表9.7.1)による。 (9.7.2,3,5)(表9.7.1		施工 形状 再生材料 よる区分 デー・デー 振 振 振 振 振 振 振 振 振		框・カウンター他 図示による タモ		多目的ホール 見切 杉材 上小 4 40 21 本 10 多目的ホール 見切枠 杉材 上小 4 90 90 本 20
		ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシー				・ 適用する		
		リングは17章による。 施工箇所 シーリング材の種類(記号)	_ 事	玄関床 300 × 300 · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				
						施工策所 品名 曲げ強度 接着性能 樹種 寸法 間代材等の適用		
			+	標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による)		(強度等級) (使用環境) 調性 リガ 間は何年の週間 (13)	1 長尺金属板葺	(13.2.2,3)
		仕上げを行わない施工箇所 (・図示による・・)	_	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、				施工箇所
		シーリング材の目地寸法 ※ (9.7.3(1)(ア)~(ウ)) による ・図示による		混和剤等をあらかじめ工場において所定の割合に配合した材料とする。 既調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)	(5) 合板等	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		※JIS G 3322 の ・ ○ 5類 (AZ150) ・ ① . 4 ・ 心木なし瓦棒葺
		接着性試験		下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理		「		· 蟻掛葺
		※簡易接着性試験 ・引張接着性試験		※目荒し工法(高圧水洗処理)・MCR工法 壁タイル張りの工法		広葉樹 ・適用する 【び		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	5 施工票	・工事完了後に監督職員の指示する位置に取付ける。		内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り		多目的ホール 壁 ※5.5 シナ ※1類 ※2等以上 ・1等 と		
	6 責任施工及び 保証期間	防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。		内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り (11.3.2~4,7)		・ 2類 ※C-D以上・ 適 用しない しい T		下葺材料 ・アスファルトルーフィング940 (・) 改質アスファルトルーフィング下葺材
	NV UTT VATIFIE	・ 改良アスファルトシート防水 10年間	よるタイル張り	吸水率に うわぐすり 役物 色 耐凍害性				・ 他タイプ・ 複層基材タイプ・ 粘着層付タイプ)
		・ 塗膜防水 10年間		施工 形状 再生材料 よる区分 ブラング 横 横 横 横 横 横 横 横 横		・「合板の日本農林規格」による構造用合板G		横葺きの場合のけらば納め ・ かみ込み納め ・ けらば包み納め
	2			The control of th		施工箇所 等級 樹種名 接着の 板面の 厚さ 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 樹種名 樹種名 品質 (mm)		工法
$\ _{10} \ $	1) 施工 2) 石材等	石材の割付け※図示による(10.1.3,5)天然石(10.2.1,3)(表10.2.1,2)						建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法(mm) 厚さ(mm) 表面仕上げの種類 備考					② とい	(13.5.2,3)(表13.5.5)
石		○末框石 ○異御影石 ○図示による ○図示による ○図示による		標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内外装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆		・1級 ・特類 ・		といその他の材種 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフドレン ・カラーアルミ ・表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類 ・)
∥ _≖ │			_	目地のシーリング材				という金物
-			_ _	打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材		・1級 ・特類 ・適用しない ・適用しない		材種※ (表13.5.2) による、溶融亜鉛めっきを行ったもの形状※市販品(とい径100以下)25×4.5mm以上(とい径100を超えるもの)
事		・あり・なし		ひび割れ誘発目地		※2級 ※1類 ※C-D ※12 ・適用する ()		取付け間隔 ・ ※ (表13.5.2) による
		テラゾブロック 施工箇所 種石の種類		※ポリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地及びその他の目地				足金物 材種 ※ (表13.5.2) による、溶融亜鉛めっきを行ったもの ・
		(mm) よる区分 よる区分 の種類	41 1	※変性シリコーン系シーリング材				形状 ※市販品・
		※大理石 ※1.5~12 ・平もの ・片面 ・花こう岩 ・役もの ・両面		下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ※目荒し工法(高圧水洗処理) ・MCR工法		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板G (12.2.1) ***		取付け間隔 ・ ※ (表13.5.2)による 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない
			41 1	外壁タイルの目地詰め		施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用		防露材のホルムアルデヒド放散量
				・行う ・行わない		・1類 ・適用する ・適用しない		※F☆☆☆☆ 鋼管製といの防露巻き
		テラゾタイル	(1) +t- = AD	な料のホル人フリ <i>ニ</i> レビササラ (1.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5		・適用する		・適用する (工法:※(表13.5.4) による・・)
		施工箇所 種石の種類 種石の大きさ 寸法による区分 表面仕上げ	1 12 1 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1()(b)(b)) による (12.2.1(1)(b)(b)) による		・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板		・適用しない ルーフドレンの種類及び呼び
		※大理石 ※1.5~12 ・300型	0 441+1	(12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) (12. 6. 1) (12. 7. 1)		施工箇所 化粧板に使用する 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用		種類 呼び 施工箇所
		・花こう岩 ・400型	 木	・JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材 施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用		単板の樹種名 ・1類 ・2類 ・適用する()		・ろく屋根用たて形 I 型 ※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150 ・150
			$\exists \mid_{\mathbf{T}} \mid$	· ※2級 ※A種·B種 ·				○陸屋根用横形 I 型 ※ねじ込み式 ○80 · 100陸屋根
		との他の材料	┘ `	· ※2級 ※A種·B種 · ※2級 ※A種·B種				・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 ・50 ・80 ・100
		取付け用モルタル ※専門工事業者の指定する製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事	・JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材		原さ 単板の 化粧加工の 防虫処理 間伐材等の適用		・差し込み式 ・50 ・75 ・100
		既調合の目地モルタル		見え掛り面 ・ ※上小節 ※A種 ・B種 ・		「		・バルコニー用 ・ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100
		※専門工事業者の指定する製品・・・ 浸透性吸水防水剤		· ※小節以上 ※ A 種 · B 種 · · · · · · · · · · · · · · · ·			(3) とい掃除口	・設ける(5-32-2) (1系統につき1箇所)
		※専門工事業者の指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材		・パーティクルボードG	- TA JUNAN II	・設けない
		石裏面処理材 ※専門工事業者の指定する製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		施工箇所 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※10%以下 ・		表裏面の状態 曲げ強さに 耐水性に 難燃性に 厚さ		
		裏打ち処理材		* 1 等		**13タイプ	① アルミニウム及び	施工箇所 種別 色合い等 (オヤル・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース
		※専門工事業者の指定する製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					アルミニウム合金 の表面処理	(成形板、笠木、建具以外) ・BB-2種 ・炊切り、下端見切
		※樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き $25\sim35\phi$		※10%以下・		・JAS 0360 に基づく構造用パネル		
		金物の固定に使用する充填材料等 ※専門工事業者の指定する製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		· A 種 · B 種		mx		・特注色 ()
								但
						 		陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色
						出田まちづくりセンター改築工事 (建築) <u>設計者</u> -級建築士	図面名称	SCALE DATE SIGN SHEET No. A1 (A3) 令和5年6月
特	記						一 特記仕	AT (AS) 取相3年8月 ±様書 3 - (-) A
					株式会社	ヤスサワ設計 -級建築士 登録 第314702号 三輪 弘 幸		03

② 鉄鋼の亜鉛めっき	表面処理方法 種別 施工箇所(手すり、タラップ以外) ・ A 種	9 仕上塗材仕上げ	内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2) ※F☆☆☆☆	⑦ 鋼製軽量建具	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	① 自閉式上吊り引 戸装置	性能値等 ※ (表16.10.1) による	(16.10.3)(表16.10.1)
金 属	・ A 程 ・ B種 ・ C種 フェンスガード 下地プレート ・ D種 ・ 電気亜鉛めっき ・ E 種		※F 文 文 文 文 位 仕上塗材の種類		建業非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル皮覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・	尸装直	・以下による ・手動開き力 (・手動閉じ力 (・閉じ速度の調整 (・制動区間 ()))
事 ③ 軽量鉄骨天井下地	・F種 野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 (14.4.2~4)(表14.4.1)		・外装薄塗材 E ・		ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ(mm) ※ (表16.5.1) による	① ガラス)) 9.7)(16.14.2~4)(図16.14.1)
	屋外形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・図示による		・外装薄塗材S ・ ・着色骨材砂壁状(・吹付け ・こて塗り) ・内装薄塗材C ・砂壁状じゅらく ・内装薄塗材Si ・	⑧ ステンレス製建具	性能値等 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5) 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:・建具表による・・・・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 (・・・・・)		フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による 型板ガラスの厚さによる種類 ・建具表による	
	○用りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示による		・内装薄塗材 E ・ 吸放湿性 ・適用する ・適用しない ・内装薄塗材 W ・ ・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・学材 ・外装厚塗材 S i ・ ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし		(建具符号:・建具表による・) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号:・建具表による・) 断熱ドア・断熱サッシG 断熱性の等級 (・)		網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面のが ・建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚る	
	○天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示による ※ 多目的ホール天井下地枠に採用(壁取合い部スリットは不要) 補強方法 ※図示による○14.4.4による		・外装厚塗材 E ・ ・内装厚塗材 C ・ ・内装厚塗材 L ・ 上塗材 ・適用する ・ ・		(建具符号:・建具表による・) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		・建具表による ・ 落球衝撃はく離特性及びにショットバック衝撃特性による種類 ・ I 類 ・ II ー 1 類 ・ II ー 2 類 ・ II 類	
	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 (・) 1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法		・内装厚塗材 G ・ ・内装厚塗材 S i ・ ・内装厚塗材 E ・ ・複層仕上塗 ・ ・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様		材料 ステンレス鋼板		強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	
4 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 (14.5.3,4) (表14.5.1) ※ (表14.5.1) によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ ②図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による		材 ・可とう形複層塗材CE ・ 上塗材 ・複層塗材Si ・ 耐候性 ・耐候形1種 ・耐候形2種 ・複層塗材E ・ ・耐侯形3種 ・複層塗材RE ・ 樹脂	(9) 木製建具	表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ・ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ (16.7.2~4)		○I 類 ・Ⅲ類熱線吸収板ガラス板ガラスの種類、厚さによる種類・建具表による	
5 金属成形板張り	出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ (14.5.4.(5)) ・ (14.6.2,3) (表14.2.1) 板幅 板厚 表面処理		・防水形複層塗材CE ・ 外 額 ・防水形複層塗材E ・ 溶 媒 ・防水形複層塗材RE ・ ・	O NAKEX	建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸		性能による種類 ・ 1 種 ・ 2 種 複層ガラス	
	種別 製法 形状 (mm) 種別 色合い等 ・押出し スパンドレ ・ロール ル形 ・プレス パネル形		・軽量骨材仕 ・吹付用軽量塗材 上塗材 ・こて塗用軽量塗材		表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※(16.7.2(2)(4)(a)) による 表面材の合板の種類		材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具表による ・ 断熱性による区分 ・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T €	
	・アルミニ ·	① 防火戸 ② 見本の製作等	※建具表による (16.1.3) 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (16.1.4) ・行わない は具見本製作の目的等		合板の種類 規格等 備考 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン	
		③ 防犯建物部品	特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号:) ・行わない ・適用する (※建具表による ・) (16.1.6)		・天然木化粧合板G 樹種名(・特殊加工化粧合板G 接着の程度(・1種 ・2種) 化粧加工の方法		熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・日射熱遮へい性による区分	
⑥ アルミニウム製笠木	・設けない 種類 ・250形 ○800形 ・350形 (1 4. 7. 2, 3) (表 1 4. 2. 1) (表 1 4. 7. 1) 表面処理 種別 (BB-2) 種 色合等 ○標準色 (ブラック) ・特注色 ()	④ アルミニウム製建具	耐風圧性の等級 (・ S-5) (建具符号 ・ 建具表による ・)		※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・MDFG ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1種 ・2種)		・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分(日射熱遮へい性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類	
7 あと施エアンカー の引抜き耐力確認	笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 ※適用する (設計用引張強度 ※図示による) (14.1.3) ・適用しない		気密性の等級 (・ A-3) (建具符号 ・ 建具表による ・) 水密性の等級 (・ W-4) (建具符号 ・ 建具表による ・)		表面板の厚さ・ ※表16.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用する ・適用しない ・かまち戸 かまち樹種(杉集成材) 鏡板樹種(杉集成材)		倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による ・ ガラスの留め材及び溝の大きさ	
試験 8 鉄鋼の焼付塗装	アクリル樹脂焼付塗装・フッ素樹脂焼付塗装は2コート・2ベーク膜厚40μとする。 (ただし、プライマーを除く。)		外部に面する建具の種別 ・A種(建具符号:※建具表による ・) ・B種(建具符号:※建具表による ・) ・C種(建具符号:※建具表による ・)		見込み寸法 ・36mm ※建具表による ・ ・		建具の種類ガラス留め材の種別・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	ガラス溝の大きさ(mm) ※建具の製造所の仕様による ・図示による
(1) モルタル塗り	モルタル ・		・ D種(建具符号:・建具表による ・) ・ E種(建具符号:・建具表による ・) 枠の見込み寸法 (・)建具表による ・) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・)		縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ・19.5mm ・連具表による ・ ・ 戸ぶすま 表面板の仕上げ ・ ・ 建具表による		(シーリング材 鋼製及び鋼製軽量建具 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
左官	・設けない床の目地・設ける 目地割り ※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)種類 ※押し目地 ・・設けない		(建具符号:・建具表による・) 断熱ドア・断熱サッシG 断熱性の等級 (・) (建具符号:・建具表による・)		見込み寸法 ・30mm		シーリング材ステンレス製建具・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・ ※建具の製造所の仕様による
事	屋外のタイル張り下地及び屋内の吹き抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び 下地調整塗材塗りの接着力試験 ・適用する 適用しない		ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ	① 建具用金物	材質、形状及び寸法 (16.8.2、3) (表16.8.1~5) 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※(表16.8.1)により適用は建具表による・		樹脂製建具	・図示による
② ラス系下地	防水剤(品質・性能、試験方法は別表による) ラス系下地 (15.2.4) ・二層下地通気構法 ・単層下地通気構法		表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 (表14.2.1) 着色 ・標準色 (ブラック) ・特注色 ()		金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ (表16.8.2) による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ (表16.8.3) による ・建具表による		耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	
	換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ク) ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 ラスの材料		屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 (表14.2.1) 着色 ・標準色 (・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ (表16.8.4) による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※ (表16.8.5) による ・建具表による	7) ① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	(18.1.3)
	種類及び記号 (メタル平ラス) 単位面積当たりの質量 (500g/m2) ラスシートの材料 ラス目による区分 (※M ・)	(5) 網戸等	工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する		握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による ・ シリンダー箱錠及びシリンダー本締り錠(品質・性能、試験方法は別表による) ・ クローザ類(品質・性能、試験方法は別表による)	を ② 素地ごしらえ	・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: 下地面等	(18.2.2~7)
	山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分		種類 材質 線径 網目 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ※0.25mm以上 ・ ※16~18メッシュ ・		鍵 マスターキー ○製作する ・製作しない 鍵の製作本数 ※各室3本1組(室名札付き) ・	C F	木部 不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合 鉄鋼面 (DP以外) 鉄鋼面 (DPのみ)	※A種 · B種 ※B種 · A種 ※C種 · A種 · B種 ※B種 · A種 · C種
3 石こうボードその 他のボード下地	() () () () () () () () () ()	⑥ 鋼製建具	・防鳥網ステンレス (SUS304) 線材1.5mm網目寸法15mm性能値等(16.2.2) (16.4.2~4) (16.4.6) (表16.4.2)簡易気密型ドアセット	①11 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ①建具表による (16.9.2、3) ①引き戸用駆動装置 性能値 ※ (表16.9.1) (防錆 ①適用する ・適用しない)		亜鉛めっき鋼面 モルタル面及びせっこ <u>ララスター面</u> コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	· A種 · B種 ※B種 · A種 ※B種 · A種
4 こまい下地 5 木ずり下地	木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 (・ mm) 建築基準法に基づく耐力壁の指定 (・あり ・なし) (15.2.6) 木ずり用小幅板の種類 (※すぎ(心去り材) ・) (15.2.7)		・適用する(建具符号:・建具表による・・) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ・ S-3) (建具符号:・建具表による・・)		・以下による ・種類・開閉方式 () ・耐電圧 () ・温度上昇 ()		押出成形セメント板面 コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び 目地: 継目処理工法 その他ボード面 目地: 継目処理工法以外	· A種 · B種 ※A種 · B種 ※B種 · A種
6 マスチック塗材塗り 7 ロックウール吹付け	種別 ・A種 ・B種 (15.7.2) ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (15.12.2,3) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ ・図示による ・25mm		防音ドア・防音サッシ		・耐久性 (サイクル) () () () () () () () () () (③ 錆止め塗料塗り	下地面 塗料の種別 錆止め塗料の種別	(18.3.2,3) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
8 しっくい塗り	しっくい(15.10.2,3)・既調合材料色 しっくい・適用しない・現場調合材料		(建具符号:・建具表による・) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		性能値 ※ (表16.9.2) (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による ・耐電圧 () ・温度上昇 ()		鉄鋼面 DP C種及びD種 EP-G ※B種・A種	見え隠れ: B種 表18.3.4 見え掛り: A種 見え隠れ: B種
	下地 ・せっこうボード ・せっこうラスボード ・モルタル塗り ・木ずり ・こまい ・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合 ・		材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL		・耐久性(サイクル) ()・防錆 ()・電源 ()		· A種 · B種 SOP ※A種 · B種	鋼製建具等:A種 上記以外:B種
	既調合しっくいの調合 ・せっこうボード下地 ※ (表15.10.1) ・モルタル塗り下地 ※ (表15.10.2) ・せっこうラスボード下地 ※ (15.8.2)		形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ (表16.4.2) による 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法		・別き戸用検出装置 性能値 ※ (表16.9.3) (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による ・耐電圧 (亜鉛めっき鋼面 DP B種 EP-G C種	(表18.3.6) 鋼製建具等: A種 上記以外: B種
	現場調合しつくいの調合及び各層の塗厚・木ずり下地※ (表15.10.3)・せっこうプラスター下地、こまい下地※ (表15.10.4)既調合しつくいの上塗り仕上げ工法	7 鋼製軽量建具	※建具表による・性能値等(16.2.2)(16.5.2~4)(16.5.6)(表16.5.1)簡易気密型ドアセット・・適用しない		・防錆 () ・防滴 () ・防滴 () ・電源 () 引き戸用検出装置の種類(表16.9.4) ※建具表による			
	・なで切り仕上・パターン		防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具符号:・建具表による・) 断熱ドア・断熱サッシG 断熱性の等級 (・) (建具符号:・建具表による・)		タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
特記			備考		田まちづくりセンター改築工事 (建築) <u>設計者</u> -級建築士 - 級建築士事務所 滋賀県知事登録 第1-2423号 登録 第169646号 中	図面名称 図面名称 特記仕	SCALE DATE A1 (A3) 令和 上様書 4 - (-)	SIGN SHEET No. 5年6月 A
1 1 ДС			. — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	株式会社	ー級建築士事務所 滋賀県知事登録 第1-2423号	. 特品工		04

				合フローリング			⑨ カーテン	(20. 2. 16)	
1	塗装 種別	(18.4.1~18.14.2) 高日射反射率 塗料の種類		工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り) ・接着工法		・断熱材打込み工法 種類 厚さ(mm) 施工箇所		形式 開閉 ひだの種類 生地の種別、品 取付箇所 備考	
塗	大部屋外 ※A種 ·B種	変料の種類 塗料の適用G		樹種 ※なら ・ 種別 ・A種 ・B種 ・C種		・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 (・)		・ダブル ・片引き ・手引き ・つまみひだ ・遮光一級 ・図示による (暗幕) ・ダブル ・別分け ・ 猫ひだ、片ひだ ・	
装	ペイント塗り 鉄鋼面 ※B種 ・A種	_ ・適用する		間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない 工法の場合の ※合成樹脂発泡シート		●押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)● 50● 土間下断熱		・プレーンひだ	
∥	亜鉛めっき鋼面 ー ・カリヤラッカー塗り(CL) ※B種 ・A種	・適用する -	8 畳敷き 種別	(19.6.2)(表19.6.1) ・A種 ・B種 ・C種 ◆D種(畳床:・KT−I ・KT−Ⅱ ◆KT−Ⅲ ・KT−K ・KT−N)		(・2種bA ・3種bA ・3種bC ・3種bD) ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ ・		生地の仕様	
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・A種	-		の種類 ・ (表12.6.1) による床組 ・ (ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロンG)		・フェノールフォーム断熱材 ・ ・		ーー・ー・ 消防法で定める防炎性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はG とする。	
11 1		L塗り塗料の等級 (2)級 ・適用する		· び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少な				暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上	
		上塗り塗料の等級		を使用したものとする。 印型畳 (畳表:・C1 ・C2)		・断熱材現場発泡工法断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H ・	① カーテンレール	材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 (20.2.14) ・ステンレス製	
	コンクリート面 ・ A 種 ・ B 種 及び押出成形セ ・ C 種	(2) 級	O - 11 12 13 13 1	パーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 (19.7.2,3) (表19.7.1) r☆☆☆		吹付け厚さ (mm) 施工箇所 ・図示による		強さによる区分 ※ 10-90 ・ 仕上げ ※アルマイト ・	
	メント板面		接着剤の	Dホルムアルデヒド放散量 r☆☆☆		(品質・性能、試験方法は別表による)	(11) ブラインドボッ	形状 ※角形 ・ 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ①図示	
	・つや有合成樹脂 コンクリート面、 エマルションペイ モルタル面、プラ			種類 JISの記号 厚さ(mm)、規格等 木毛セメント板G HW ※図示による ・15 ・20 ・25			クス及びカーテ ンボックス	材種 ◆集成材(仕上げ: (UC)) ●アルミニウム製 押出し型材(市販品)	
	スター面、せっこ ※B種 ・A種 (EP-G) うボード面その他	-	→ 中質	木毛セメント板G MW ※図示による ·15 ·20 ○ 25				種別 (表14.2.1) による種別 ・BC-1種 ・BC-2種	
	ボード面等		• 硬質	木毛セメント板G NW ※図示による ・15 ・20 ・25 木片セメント板G HF ※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30				色合い (・標準色 (ブラウン) ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ:)	
	屋内の木部 鉄鋼面 ※B種 ・A種	-	・火山1	木片セメント板G NF ※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30 性ガラス質複層板 ※図示による			① 天井点検口	材種 寸法 形式 外枠 内枠	
	亜鉛めっき鋼面 ・合成樹脂エマルションペイント塗り ※B種 ・A種	_		※図示による酸カルシウム板(タイプ2)0.8FK・図示による ○6 ・8				・アルミニ ・450 × 450 ・一般形 ・屋内外用 ・顧縁タイプ ・ 顧縁タイプ ウム製 ・600 × 600 ・屋内用 ・目地タイプ ・日地タイプ	
	(EP) ※ P種 ・ A 種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※ B種 ・ A 種	_	<u>○</u>	クウール化粧吸音板 DR ・フラットタイプ (・) (不燃)・12 (不燃)・)				・ ・気密形 (品質・性能、試験方法は別表による)	
	・ステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)		● 凹凸タイプ ● 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)	19 ① 可動間仕切	(20.2.3)	① 床点検口		
	・木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・A種	-		クウール吸音ボード 1号 RW-B ・ 2.5		構造形式 構造形式 種類 パネル表面 (dB/500Hz) 防火性能 (dB/500Hz)		材種 寸法 形式 備考 ・ アルミニウム製	
	高日射反射率塗装Gを適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属 クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用		⊙ 世っ	スウール吸音ボード32K GW-B ・25 (ガラスクロス包) こうボード GB-R ○12.5 (不燃)・15 (不燃)	<u> = </u>	スタッド パネル 仕上げ ・スタッド式 (内蔵) ・メラミン樹脂 ・0 ・		・ステンレス製 ・600×600 ・密閉形 ○ 屋内用 ・鋼製 ・	
	・適用しない ・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤 ・油性: ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用	梁料着色剤)		積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)	<u> </u>	・スタッド式 (露出) 焼付又はアク ・12 ・スタッドパネル式 リル脂肪焼付 ・20		密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。 (品質・性能、試験方法は別表)	
	●適用する ・適用しないオイルステン塗りの工程等			ングせっこうボード GB-S 12.5 (不燃) せっこうボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15 (不燃) ・21 (不燃)	及 び	● State	14 耐震スリット	方向 タイプ 耐火性能 防水性能 備考	
	•		○ 硬質・	だせっこうボード GB-R-H 12.5 せっこうボード(クロス) GB-D(押) 9.5、12.5 (不燃)	その	パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示による ・) ・なし パネル内に取り付ける建具の ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書		・垂直方向 ・完全(全貫通型) ・耐火型 ・有り ・水平方向 ・ ・ ・ 無し	
				せっこうボード(トラバ GB-D(T) 9.5 (準不燃)	他	16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は(標準仕様書19章)による		目地	
18 ① 接着剤	ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムア	ルデヒド放散量 (19.2.2)		- ン模様)	事。	パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F ☆ ☆ ☆		ジーリング材ジーリング材	
_内	※F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤	の種別	一	i合板G 表面の材種 生地、透明塗料塗り	② トイレブース	(20.2.5)		目地材	
次 装 ② ビニル床シートG	・図示による	(19. 2. 2, 3)		(※ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り		・メラミン樹脂系化粧板 ・ ・標準 ※製造所の仕様		目地寸法 │ ●幅20×深さ10	
エ	種類の記号色柄厚さ(mm)備考※FS・無地※2.0			(※しな程度 ・ 板面の品質 (難燃処理)		・ポリエステル樹脂系化粧板 ※幅木タイプ ・アルミニウム製 ・ステンレス製	(15) 流し台ユニット	目地材の材質は(表9.7.1)による	
事	・マーブル柄 ・			厚さ(mm) (※図示による ・) ・防虫処理		その他機能 ※ 指つめ防止型、 ※ 非常時開錠(外開き)		材種 寸法(mm) 備考	
③ 特殊機能床材	接合部の処理 ※熱溶接工法・帯電防止床シート	(19. 2. 2)	,王姝	*************************************		(品質・性能、試験方法は別表による) パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512 により F ☆ ☆ ☆ ☆ 以上		→流し台 →1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 →600 →850 トラップ付き	
3) 特殊城市体例	種類 ()	(19. 2. 2)		厚さ(mm) (※図示による ・)	③ 視覚障害者用床タイル	(11. 2. 2) (19. 2. 2)		· 1800 · 650 天板人大製	
	性能 () mm)			防虫処理・行う・行わない		施工箇所 種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 屋内 ・塩化ビニル製 ・300×300 ・7.0		→ キッチンセット (・) 350 (・) 550 (・) 1 市販品 (・) 600 (・) 650 (・) 650 (・) 1 市販品 (・) 650 (・) 1 市販品 (・) 1 下版品 (・) 1	
	・帯電防止床タイル 種類 ()		· 特殊	:加工化粧合板G 化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)		・セラミックタイル G ・300×300 ・		→ り戸棚 → 200 → 500 市販品	
	性能 () 寸法 厚さ (× mm)			表面性能 () タイプ 厚さ (mm) (・図示による ・)		・レジンコンクリート製 ・300 × 300 ・コンクリート製		○水切り ○200 - 市販品	
	・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列	はJIS T 9251による		防虫処理 ・行う ・行わない		屋外 ・セラミックタイル G ・300×300 ・		・900 ○600	
	種類 () 形状 ()			ミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による厚さ (※3.0・) エステル樹脂化粧板		・ロンクリート製・コンクリート製		品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示による	
	・耐動荷重性床シート		・ミディ	イアムデンシティファ MDF ・図示による ・3 ・7 ・9 ・12 NーボードG	(A) ##!!	ブロックパターンはJIS T 9251 による	16 フェンス	フェンスの種類・ビニル被覆エキスパンドフェンス	
	種類 (スポーツ用弾性塩ビシート t6.2mm貼り) 厚さ (6.2 mm)			張りパーティクルボー ・無研磨板 (VN) ・研磨板 (VS)	4 手すり	材料の種類及び仕上げ - SUS304 (表面処理 ※HL程度 ·)		動脂塗装メッシュフェンス鋼管フェンス	
	防滑性床シート種類 (発泡複層ビニル床シート t2.5mm)		FG · 化粧/	・図示による ・10 ・12 ・15 ・18 パーティクルボードG ・単板オーバーレイ (DV)		・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※(表14.2.2)による種別(・)種) ・アルミニウム 表面処理 (※(表14.2.1)による種別(・)種)		・アルミフェンス 高さ ・ 図示による	
	厚さ (2.5 mm) ・防滑性床タイル			・プラスチックオーバーレイ (DO) ・塗装 (DC)		種別 ()種 () 色合等 ・標準色 (オーク) ・特注色 ()	① 床の異質材の取 合い箇所	※ п 型幅40mm 厚さ2.0mm ステンレス製SUS304 NO2B仕上程度 (20.2.7) 目地棒 ステンレス鋼 厚さ5~6mm、高さ12mm	
	種類 ()) 寸法 厚さ (× mm)		. //-	※図示による ・10 (難燃) ・12 (難燃) ドボード (素地) ⑤ HB ・未研磨板 (RN) (・スタンダード ・テンパード)		手すりの握り部分	18 設備基礎		
④ ビニル幅木	対質の種類 ・軟質 ・硬質 高さ(mm) ※60 ・75 ・100	(19.2.2)		・研磨板 (RS) (・スタンダード ・テンパード) ・ドボード (化粧) G ・内装用 (DI) ・外装用 (DE)		・集成材 ・クリアラッカー ・35程度 (材種:)	(19) 消火器ボックス	 ・ 寸法・箇所数 ※ 図示 ・ 半埋込み型 W300×H900 鋼製焼付塗装仕上 	
5 ゴム床タイル	厚さ(mm) ・ ※1.5以上 種類 ・単層品 ・積層品	(19. 2. 2)		** ** ** ** ** ** ** *		・	一	 ・ 十度込み至 W300×R900 鋼製焼付塗装仕上 取扱表示付 既製品()ヶ所 ◆ 全埋込み型 W300×H900 鋼製焼付塗装仕上 	
コム床ダイル	色柄 ()	(19. 2. 2)		※図示による ・9 ・12 ・15 ・18		・45程度 ・45程度		取扱表示・扉部アクリル板マグネットキャップ付 既製品 (図示による) ヶ所	
	厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法(mm) (けい酸カルシウム板FK(化)6.0 (不燃)酸カルシウム板 (有孔)FK(孔)6.0 (不燃)	⑤ 鏡	取付箇所(多目的ホール) (20.2.9)	②① 郵便受 ②1) 屋内掲示板	※ 図示による※ 既製品	
⑥ カーペット敷き⑤	パイルの形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚			のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合		寸法(mm) ○ 図示による 厚さ (mm) ※5 ・		枠の材質 ※ アルミニウム製表面材 表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り	
	※ループパイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・			※図示による 類の張付け ・A種 ・ B種	⑥ 表示	衝突防止表示 (20.2.10) → 設置する (設置場所 ※図示による ・)		寸法 ・ 900×1800 ()ヶ所	
	・カットパイル・第一種・第二種・第二種・・・・・・か・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		せっこ	こうボードの目地工法等 地工法の種類 ※仕上表による		形状・寸法 (○3 0 φ ·) /) / 材質 (○ステンレス製 ·)		900×1200 (2)ヶ所1200×3600 ()ヶ所	
	・カット、ループ ・第一種 ※500×500 ※6.5 併用 ・第二種 ・ ・		突作	付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ・ベベルエッジ ・スクェアエッジ ムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ (19.8.2,3)		・設置しない	②② 屋外掲示板 ②③ 鍵箱	※ 図示による	
	「FR 「FR 「FR 「FR 「FR FR FR FR FR FR			辟紙の種類		室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)	WE TE	種類 ・20組 個数 1個	
	タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し			極工箇所 壁板の種類 防火性能 紙 繊維 繊維 塩化ピニル プラスチック 無機質 その他 建物全般 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		※図示による	②4 収納他家具	材質、形状、寸法	
	階段部分 ※模様流し ・市松敷き 見切り、押え金物		建	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⑦ タラップ	材質及び仕上げ (20.2.12) ○SUS304 (スリップ止め加工 ※あり ・なし)		※図示による 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量	
	材質 (ステンレス製(磨き)) 種類 (フロアジョイナー)			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※(表14.2.2)による種別(※C種・ 種))		※F☆☆☆	
フローリンケ 張りG	形状等 ※図示による ・ フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 (1	9. 5. 2~6) (表19. 5. 1~6)		タル及びプラスター面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種 クリート面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種	⑧ ブラインド	<td color="black" rowspan="2" th="" the="" ="" <=""><th></th><th></th></td>	<th></th> <th></th>		
	※(19.5.2(2))による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量			こうボード面の素地ごしらえの種別 ※B種 ・A種		形式 様形 種類 スラットの材質 ベックト ボックス し 幅 幅			
	※F☆☆☆☆ ・単層フローリング (フローリングボード1等)		① 断熱材図 フェノ	(19.9.2,3) ノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量					
	工法 ・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)		*F	F☆☆☆☆		• 電動 —			
	・接着工法 樹種 ※なら ・			部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆		・縦形 ・手動 ※2本操作 ・アルミスラット ・80 アルミニウム ・図示による コード式 ・クロススラット ・100 合金製			
	間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない ・単層フローリング (フローリングブロック1等)					・1本操作 コード式			
	樹種 ・ Para ・ Pa					・電動 一 縦型ブラインドのスラットの材質			
	大きさ ・ 間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない					・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工			
	шкм 寺い旭出 ・ 週出 9 る ・ 週用しない					・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合はGとする。			
							図面名称	SCALE DATE SIGN SHEET No.	
特記							寸 一 特記化	A1 (A3) 令和5年6月 仕様書 5 - (-)	
					株式会社	ヤスザワ設計 -級建築士			

②① ① 屋外雨水排水 排 水 工 事	材料	4 コンクリート舗装5 透水性アスファルト舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2~4,6)(表22.5.1,3)	②3 解体一般事項 ② 地中埋設物等	特別管理産業廃棄物		石綿粉じん濃度測定方法 名称 測定3 測定1,2,4,6,7,8 測定5 計数機器 位相差顕微鏡 メンプレンフィ ルタの直径 25mm 47mm 試料の吸引流数 1 /min 5 /min 10 /min 試料の吸引時間 5 min 1 2 0 min 2 4 0 min 試料の透明化 アセトシートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法 計数条件 総石綿繊維数 2 0 0 本又は視野数5 0 視野 計数石綿 直径3 //m未満、長さ5 r/4以上、長さと直径比3:1以上 定量限界 5 0 f / 0.3 f / 官公署その他への手続き のとまその他への手続き 一般建築工事の手続きのほか、所管労働基準監督署への手続き及び都道府県知事又は市長が定めている届出書類等の必要な手続きを行う。 安全衛生管理
2 鋳鉄製ふた ③ グレーチング	・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295 ・現場打ちの場合の足掛け金物 ※ (21.2.2(6)(才)) 材質 ・ 新型 ・ 合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・ 行う ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・ 行う ・ 行わない (21.2.1) 名称 種類 ・ 放射形 ・ 下-2用 ・ 有り 左記以外の品質等は(公社)空 ・ 商易密閉形(パッキン式) ・ 下-6用 ・ 無し 気調和衛生工学会SHASE-S209 による。 ・ 下-20用 による。 ・ 本の計形(テーパ・パッキン式) ・ 下-20用 による。 ・ 中ふた付き密閉形(テーパ・パッキン式) ・ ボー20用 による。 ・ 中ふた付き密閉形(テーパ・パッキン式) ・ 下-20用 ・ 一ピッチ ・ が開製 ・ 歩行き、 ・ 歩行用 ・ 細目 ・ かけき、 ・ ボルト固定 ・ ボルト固定 ・ ボルト固定 ・ 下-2用 ・ 一き通目 ・ ・ ロ凸形 ・ ボルト固定 ・ ボルト固定 ・ ボルト固定 ・ 下-2用 ・ 一き通目 ・ ・ ロ凸形 ・ ボルト固定 ・ ボルト固定 ・ 下-2円 ・ 下-2円 ・ ・ アー2円 ・ ・ アー2円 ・ アー2円 ・ アー2円 ・ アー2円 ・ 下-2円 ・ アー2円 ・ アー2円	⑥ ブロック系舗装⑦ 砂利敷き⑧ 路面標示用塗料	種類 部位 形状寸法 厚さ 曲げ強度 (N/mm3) 備考 (N/mm3) 事路 ・図示 ※80 ※5.0 表面加工・透水性ブロック(P)・保水性ブロック(M) 歩行者用 ・図示 ・60 ・3.0 ※5.0 を水性ブロック(M) がではでは、 ※80 ※5.0 をおけていっク(M) ができまりましましまり。 ※80 ※5.0 をおけていっク(M) ができまりましましまり。 ・ では、 ※80 ※5.0 をおけていっクはでは、 (透水性ブロックはで) (再生材料を用いた舗装用ブロック) 、透水性ブロックはで (透水性コンクリート) とする。 仕上がり面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は、3mm以内とする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(24) 事前措置 2 杭の解体 解体施工 3 さく、物 照明設備等の付樹木 下配管 (5) 地理管 6 解体後の整地	 ① 行う ・ 行わない (3. 2. 1) 杭の解体 ・ 行う ・ 行わない 杭の解体工法 ・ 引抜き工法 ・ 破砕による解体 さく、照明設備等の付属物の解体 (3. 1 0. 1) ① 行う 範囲 ※ 図示 樹木の伐採抜根及び移植 (3. 1 1. 1) ① 行う 範囲 ※ 図示 雨水ます、雨水配管 (3. 1 2. 1) 地下埋設物及び埋設配管の解体 ① 行う 範囲 ※ 図示 解体後の埋戻し及び盛土 (3. 1 3. 1) ① 行う 範囲 ※ 図示 解体後の埋戻し及び盛土 ・ 現状GL ・ 図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類 ① 他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。 	2 石綿含有 吹付け材の処理3 石綿含有 保温材等の除去	洗浄設備 (1) 洗眼、うがいの設備を設ける。 (2) 更衣設備等を設ける。 処理を行う石綿含有吹付け材の仕様等 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 処理工法 (6.3.2) 除去処理 ※ 6.3.2(1)(ア)~(エ)による 除去した石綿含有吹付け材等の固型化 (6.3.2) ・行う ・ 行わない 除去した石綿吹付け材等の処分等 (6.3.3) ※ 処分地は工事補足説明事項による 処理を行う石綿含有保温材等の仕様等 材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲 ※ 図示
④ 街きょ、縁石及び 側溝	・ステンレス製 ・受枠付き、	⑨ 車止めブロック① 植栽地の確認等② 植栽基盤の整備	種類 施工 適用 色 (mm) (mm) (mm) (mm) (mm) (mm) (mm) (m	2 産業廃棄物広域	表層仕上げ 砂利敷き (※ B種 ・	④ 成形板の除去⑤ 石綿含有⑥ 含有事前調査結果	 ※ 原形のままばらし除去 ・ 手ばらし以外 除去した石綿含有建材の処分等
⑤ ^{埋戻し土} ① ^{路床} 舗装工事	・ U 形側溝ふた ・ 図示による ・ 図場場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm3 ・ スランプ ※15cm 又は 18cm 現場打ちの場合の鉄面種類の記号 ※SD295 凍上抑制層に用いる材料 (砂を用いる場合の粒度試験) ・ 行う ・ 行わない ※ B種 (2 1 . 2 . 1)	及び屋上緑化工事 ③ は塩塩塩塩素のは、大は、は、大は、は、大は、は、大は、は、大は、は、大は、は、大は、は、大	・B種 (※100 ・120 ・150)	産業廃棄物等の処理等	特別管理産業廃棄物 (5.4.1) 種類 処理方法 ○ 廃石綿等 ・ PCBを含む機器類 ・ PCB含有シーリング材 ・ 廃 油 ・ 廃酸・廃アルカリ ・ ダイオキシン類 ダイオキシン類の解体方法(微量PCBの分析調査 ・ 行う ・ 行わない (5.4.1) PCB含有シーリングの分析調査 ・ 行う ・ 行わない (5.4.1) ダイオキシン類のサンプリング調査 ・ 行う ・ 行わない (5.4.1)	① 共通事項 ② 特殊な建設副産物の回収及び処分	会館 外壁 (内部) 吹付断熱材 ・有 ※無 会館 和室壁 じゅらく塗壁 ※有 ・無 会館 和室天井 石こうボード ・有 ※無 会館 廊下壁 石こうボード ・有 ※無 会館 外壁 リシン吹付 ・有 ※無 講堂 野 しっくい塗 ・有 ※無 講堂 和室壁 じゅらく塗壁 ・有 ※無 講堂 和室天井 石こうボード (木目) ・有 ※無 講堂 外壁 リシン吹付 ・有 ※無 分析調査 (7.1.3) ・行う 行わない ※電気設備工事図・機械設備工事図による。 (7.3.1)
② 路盤③ アスファルト舗装	・行う ● 行わない ・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ボルトランドセメント ・高炉セメントB種G ・フライアッシュセメントB種 添加量 ・ kg/mm3 (CBR ・3以上 ・) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/mi以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98M/5cm (10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 -1cm/sec以上 試験 砂の粒度試験 ● 介う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ● 介う ・行わない 現場CBR試験 ● 介う ・行わない 路床締固め度の試験 ● 介う ・行わない 路路 の厚さ ● 図示による 路盤材料 ((表22.3.1)による種別) ・クラッシャラン ・粒度調整砕石 ● 小フラッシャラン ・ 地度調整砕石 ● 小フラッシャラン ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	5 支柱	支柱材 ※丸太 (間伐村) ⑤ ・真竹 (23.3.2) 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	②6 ① 共通事項	施工調査 ※ 石綿含有建材の有無 目視、設計図書等により製品名、製造所名、製造年等の確認 ・ 分析による建材中の石綿含有の調査 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中の石綿含有率測定方法」による。 ・ 分析結果については、監督職員に報告すること。	差勿の心里	
特記	・ストレートアスファルト ・アスファルトコンクリート再生骨材⑤ 加熱アスファルト混合物の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13F) 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない		備 考		測定 7 処理作業後 シート撤去後 1週間以降 処理作業室内 調査対象室外部の付近 ・計 点 大気 (注) 1. 各施工箇所ごとの作業室面積が 5 0 m²以下までは2点、300 m²以下までは3点、1000 m²以下までは4点、1000 m²を超えるものは5点とする。 田まちづくりセンター改築工事(建築) 設計者 一級建築士 予別建築士 登録 第314702号 一級建築士 登録 第169646号 中	村 一 特記仕村	SCALE DATE SIGN SHEET No. A1 (A3) 令和5年6月 A 様書 6 - (-) A 06





建物求積図 S=1:100

■ 庆而结果

	符号	算 定		算定値(m²)	室面積(㎡)	備考
会議室1	(1)	5.400 ×	7. 200	38. 880	38. 88	
会議室2	(2)	8.400 × 7	7. 200	60. 480	60. 48	
多目的ルーム	3	5.400 × 7	7. 200	38. 880	38. 88	
調理実習室	4	9. 210 ×	7. 200	66. 312	66. 31	
多目的ホール	(5)	0.390 ×	7. 200	2. 808 -	\neg	
	6	10. 200 × 19	9. 800	201. 960		
	<u></u>	0.425 × 6	 3. 875	2. 922 -	207. 69	
ステージ	8)	8.100 × 3	3. 000	24. 300 -	\neg	
	9	1.050 × 3	3. 000	3. 150 -	27. 45	
倉庫②	(10)	1.140 × 12	2. 925	14. 735	14. 74	
倉庫③	<u>(11)</u>		3. 000	6. 570	6. 57	
事務室	(12)		5. 810	36.774 -	\neg	
	(13)		0. 390	0. 523 -	37. 30	
和室8帖	(14)		3. 600	12.942 -	\neg	
	(15)	0.560 × (). 840	0.470 -	13. 41	
和室10帖	(16)		3. 600	16.344	16. 34	
床の間・書院	<u>(17)</u>	2.695 × (0. 900	2. 426 -		
	(18)	0.560 × 1	1. 740	0.974 -	3. 40	
押入①	<u>(19)</u>	0.945 × 3	3. 600	3. 402	3. 40	
押入②	20	1.845 × (0. 900	1. 661	1. 66	
物入	<u>(21)</u>	1.455 × 1	1. 865	2. 714	2. 71	
踏込・ホール	22	1.800 × 1	1. 865	3. 357	3. 36	
給湯室②	23)	1.845 × 1	1.865	3. 441	3. 44	
フリースペース	24)	1.500 × 6	6. 000	9.000 -		
	25)	2.700 × 5	5. 570	15. 039		
	26)	5.100 × 5	5. 635	28. 738 -	52. 78	
パーソナルルーム	27)	5.700 × 3	3. 600	20. 520	20. 52	
廊下	28	19.500 × 2	2. 400	46. 800	46. 80	
玄関・ホール・下足室	29	1.340 × 6	6. 000	8.040 -	\neg	
	30	3.600 × 6	6. 390	23.004 -	31.04	
倉庫①	31)	3.000 × 3	3. 600	10.800	10. 80	
給湯室①	32)	2.400 × 2	2. 100	5. 040	5. 04	
授乳室	33	2.400 × 1	1.500	3. 600	3. 60	
女子トイレ	34)	3.150 × 3	3. 600	11. 340	11. 34	
男子トイレ	35)	3.150 × 3	3. 600	11. 340	11. 34	
通路	36)	2.100 × 0). 960	2.016	2. 02	
多目的トイレ	37)	2.100 × 2	2. 640	5. 544	5. 54	

■ 建築面積表

部位	符号	算 定	算定値(m³)	面積(m³)	備考
ポーチ	A	3.800 × 6.425	24. 415 —		
	B	0.460 × 6.390	2. 936 -	27. 36	
テラス	©	27. 000 × 2. 100	56. 700	56. 70	
軒下	D	0.715 × 1.925	1. 376	1. 38	
軒下	E	0.560 × 5.520	3. 091	3. 09	
軒下	F	2. 700 × 0. 430	1. 161	1. 16	
		1階床面積		746. 85	
	建多	幹面積		836. 54	

		神田まちづくりセンター	b 筑 丁 車 <i>(</i> 孕 筑)	設計者	図面名称	SCA'	LE DATE	SIGN	SHEET No.
		т т ш х 5 У (9 с У ў —	X 宋 工 尹 (廷 采 <i>)</i>	一級建築士		A1	(A3) 令和5年6	6月	
特記	備 考		一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第四-2423号	登録 第169646号 中村 一	建物求積図	1:100	(1:200)		A /
		株式会社 ヤスザワ設計	一級建築士 三輪弘幸		建物面積表	-	(-)		00
			·						00

■ 仕上表 (特記仕様書) 下記事項は共通とし、図中に表示がなくとも適用する。 ■ 凡 例 (記載メーカー及び品番については参考であり、下記の同等品以上とする) ■ 共通事項 ■ 材料表 ただし、これと異なる表示がある場合を除く AP アルミニウムペイント 名称(符号) 材質・規格・寸法など 参考メーカーなど 1. 床の高さ区分は、平面図、平面詳細図による 35. 特記なき限り天井点検口は、岩綿吸音板部は全て目地タイプとする。その他は一般アルミ枠とする GB-F 強化石こうボード 2. スラブの高さは、下地コンクリートレベルをFLからの高さを表す。構造図記載スラブレベルとの差は打増しコンクリートにて対応する 装| SOP 料 GB-F(N) 強化石こうボード(ガラス網入り) 36. シックハウス対策 合成樹脂調合ペイント フッ素樹脂塗装GL鋼板 t0.4mm 横葺 株式会社セキノ興産 SFルーフ 3型 金属板横葺 3. 屋外の床高さは配置図・外構図による ・ クロルピリホスを添加した建材は使用不可とする。 FE フタル酸樹脂エナメル塗り E GB−N 不燃積層石こうボード 働き巾 300mm ェバールーフ横葺 2型 4. 仕上げ表内記載の仕上げは、その室の代表仕上げであり、異なる床の仕上げおよび壁の仕上げ区分は、平面図・平面詳細図・展開図による GB-R-H ※屋根メーカー標準品 ・ ホルムアルデヒドを発散する建材・塗材等(接着剤含)は全てF★★★★とする。 フタル酸樹脂エナメル 硬質せっこうボード ステンレス製 先付けタイプ 屋根 雪止め金具 5. 壁の種類は平面図・平面詳細図による 37. 異種材料が同一平面で仕上がる場合には伸縮調整目地を設ける。(壁:石膏ボード綿と左官面等) アクリル樹脂系非水分酸形塗材 けい酸カルシウム板 段葺用 千鳥配置 @600~ ΑE 6. ドレンおよび竪樋の位置および径は、平面図・屋根伏図・立面図による アクリル樹脂エナメル FK (化) 上記目地は特記なき場合でも、床はステンレス製目地棒(金属工事)とし、壁・天井は塩ビ製目地棒を使用するものとする 化粧けい酸カルシウム板 フェノールフォームt25mm+中質木毛セメント 大和建材工業株式会社 ダイワハイボードダンネツR 耐火複合野地板 7. 外壁の化粧目地・伸縮調整目地割付は、立面図による 38. 天井高さ2700以下の場合、壁面の石膏ボードは3×8または、3×9版の1枚ものを使用し、水平ジョイントは設けない A-BE アクリルエナメル(焼付) FK (孔) けい酸カルシウム板(有孔) 板t25mm 総t50mm 屋根30分耐火仕様 FP030RF-1825 2-UE 8. 構造スリット位置は、構造図による 天井高さ2700を超える場合、水平ジョイント位置・仕様を監督員と協議の上決定とする 2液形ポリウレタン樹脂エナメル 岩綿吸音板 窯業系外壁材 t16mm 通気金具工法 ニチハ株式会社 モエンエクセラード16 プレミアム 窯業系サイディング 9. 告示771号・特定天井および耐震天井の仕様は本仕上げ表による 2-ASE アクリルシリコン樹脂エナメル 軽量鉄骨 GB-F t15mm2重張 外壁1時間耐火仕様 キャスティングウッド プレミアム しぶき プレミアム 39. 内部仕上表内の内装制限欄に記載ある性能以上の仕上材にて施工のこと 10. 土間下防湿・断熱は、砂利 (RC-40) + 砂敷t30 + ポリエチレンフィルム t0.15 + 断熱材 押出法ポリスチレンフォーム(2種b) t50とする 2-FUE 常温乾燥形フッ素樹脂エナメル 40. スラブ高さと仕上厚との差は、増打ちコンクリートとする 鉄筋コンクリート 化粧繊維混入けい酸カルシウム板 t12mm 神島化学工業株式会社 アルテザード 軒天井サイディング(テラス) 41. 室名の前に(V0C24)× ()箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定(24時間)及び確認を所定の箇所数行う エポキシエステルエナメル(焼付) 軽量気泡コンクリート 木目調軒天井ボード 11. 屋外において異なる材料の取合部分およびジョイント部分には、全てシーリング(仕様書による)を充填する TXE 機械式固定断熱工法 非歩行 t1.5mm 遮熱 日新工業株式会社 遮熱仕様 MF-150M遮熱 コンクリートフ゛ロック 12. 内装軽量鉄骨天井下地および壁下地の脱落防止および耐震安全性 42. 室名の前に(VOC 8)×() 箇所印がついている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定(8時間)及び確認を所定の箇所数行う タールエポキシ樹脂塗料 塩ビシート防水 EP-G 公共建築仕様 SI-M2適合 断熱材 t30mm 【天井仕様の分類】 43. 特記なき場合の床仕上げ下地は、タイル張り部分を除きコンクリート直均し仕上げのうえ仕上げ材とする。 つや有り合成樹脂エマルションペイント フリーアクセスフロア床下地 断熱材 BKボード 脱気筒設置 A) 天井:標準仕様書に規定する仕様とし、JIS規格品を使用するもの 44. 特記なき場合の床・合金骨材配合散布型耐久床仕上材部分は、RC部にカッター目地切り+シール材充填 @3.0mでタテヨコ共を設置のこと。 合成樹脂エマルションペイント カラーアルミ製既製品 W170~122.5 H105~80 | 井上商事株式会社 アルノキ 9号 アルミ軒樋 CL B) 耐震天井:下記特定天井以外でも、図中に指定する天井で、告示771号に基づく仕様とするもの クリアラッカー フ゜レート 吊り金具 メーカー品 @600以内 ドレン・吊金具等 メーカー付属品 C) 特定天井:告示771号に基づく天井仕様とするもの 1-UC 1液形ポリウレタンワニス C. PL チェッカーフ゜レート カラーアルミ製既製品 89.1ϕ 井上商事株式会社 アルトイ【丸型】 バンドレスタイプ アルミ竪樋 2-UC 【A)天井仕様の注意事項】 2液形ポリウレタンワニス フラットハ゛ー 指示金物 メーカー品 @1200以内 指示金物 高強度 メーカー付属品 AC ・ 天井ふところ3,000を超える場合は、図中による仕様又は鉄骨造ぶどう棚等により天井を吊る アクリル樹脂ワニス ヘアライン仕上げ アルミ製面格子 木目調 50×100 @150 井上商事株式会社 スカイフィット パーティションタイプ アルミ格子(ポーチ) 超高耐候 内・外装用不燃シート パネル格子タイプ SHSN-5010+SHBM-50 ・ 天井内に設置する設備機器および配管・配線等と天井下地材との大地震時の干渉(衝突)を無くす ワックス 鏡面仕上げ ・ 天井下地が設備機器等の影響で、所定のピッチに吊る事が出来ない場合は監督員の指示による 08 オイルステイン、アルコール溶性着色材 ジェットバーナー仕上げ 発泡複層ビニル床シート t2.5mm(凸部) NSリアルデザインNW 防滑性床シート 東リ株式会社 $\mathsf{EP}\mathsf{-M}$ ク゛ラスウール 24K 多彩模様塗料 【B)耐震天井】 高耐久UV樹脂コーティング ・ 設計に用いる水平震度は、平成25年国土交通省告示771号第3第1項第9号に規定される水平震度を用いる EP-T 合成樹脂エマルション模様塗料 ステンレス塔屋タラップ(安全ガード付) モルタル 神栄ホームクリエイト株式会社 SK-3051GS タラップ 地上階の階数 6 階 木材保護塗料 床断熱下地材(洋室用) t50mm 取付金具 メーカー付属品 (一) 0.3(2N+1) = 3.3 を超えない階数に1を加えた階から最上階 4 階から上 U٧ 不燃化粧板 t3mm UVセラミック塗装(減摩材入り) 三昌ホームテック株式会社 ネダフォーム 床断熱下地材 発泡プラスチック系断熱床下地材 t50mm EP-AB (二) 中間階:(一)又は(三)以外の階 2 階 ~ 3 階 吹付水性高機能環境配慮型塗料 アルミ製廻縁 和室用50 洋室用 LDK50 (三) 下層階: 0.1(2N+1) = 1.21 を超えない階数 1 階 ~ 1 階 U-AB ウレタン樹脂焼付塗装 塩ビ製廻縁 クリヤマジャパン株式会社 タラフレックス 屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート t9.2mm スポーツ用弾性塩ビシー DP 階ごとの水平震度 耐候性塗料 長尺ビニル床シート バトミントンコートライン引き モルタル直貼りタイプ r=min((1+0.125(N-1))/1.5= 1 .1.0) NC(防滑) 長尺ビニル床シート(防滑用) 垂直開閉式トップライト 三菱ケミカルインフラテック株式会社 FP-130 トップライト $(-) \qquad 2.2r \qquad \Rightarrow \qquad 2.2$ 鉄骨(スチール) NC(トイレ) 長尺ビニル床シート(トイレ用) オペレーター装置 メーカー標準品 ライトスモークハッチ パラレルFP 料 SUS (\equiv) 1.3r \Rightarrow 1.3 鋼床 ステンレス 鋼製床組下地 t6.5mm 500mm × 500mm G A - 1 0 0 W 東リ株式会社 タイルカーペット (\equiv) 0.5r \Rightarrow 0.5 仕 | AL アルミニウム タイルカーペット 低炭素、防炎、静電 · B) 耐震天井の適用 溶融亜鉛メッキ処理 ビニル巾木 床ビニールシート(一般) 複層ビニル床シート FS t2.0mm 東リ株式会社 マチュアNW • 摘要箇所 • 有り ※ 無し <u>ե</u> GB−R 石こうボード カーテンレール 摘要箇所名 設計用水平震度 摘要設計ルート GB-D (T) 化粧石こうボード(トラバーチン模様) ブラインド(ヨコ・タテ型) 床ビニールシート(トイレ) 複層ビニル床シート FS t2.0mm 東リ株式会社 消臭NSトワレNW ・ 仕上げ表による K=告示771号に基づき設定 GB-D (押) 化粧石こうボード (押入用) 木製集成材巾木 GB-Sシージング石こうボード 三洋工業株式会社 金属製床下地材 スリーベース301 . $\kappa =$ 鋼製床組下地 鋼製床組下地(一般体育館) H600㎜ 一般体育館 標準&高床タイプ K =■ 内装制限 ※ 耐震天井の場所ごとに、上記水平震度設定に基づく仕様とする 格子フェンス(外構) 格子フェンス H=1.8 RC基礎共 朝日スチール工業株式会社 UNフェンス 記号 内装制限 内装制限根拠 ※ 天井下地等の変更は計画変更申請が必要とされるので、設計者への確認を行うこと (天井下地の材料変更、天井に配慮した設備機器のレイアウトや数量、仕様等) 不燃材 (下地共) 令 第129条 第1項、第2項、第3項、第4項、第5項、第6項 亜鉛引きネットフェンス H=0.9 防護フェンス(屋根) 朝日スチール工業株式会社 PCフェンス 告示 第1436号 四-二-(一) 取付金物 亜鉛メッキ FB-4.5×100 加工品 【軽鉄壁下地の仕様】 告示 第1436号 四一二一(二) 木調アルミ格子フェンス H=1.2 格子35×50 @100 縦格子フェンス(屋根) 三協立山株式会社 フレラインN5型 取付金物 亜鉛メッキ FB-4.5×100 加工品 ※ JIS規格品・無指定 告示 第1436号 四一二一(三) ・ 間仕切壁は原則5m以下での床版下と床版に架かる構造とし、標準仕様書に規定する仕様とする 発泡複層ビニル床シート t2.5mm (凸部) 準不燃材 (下地共) 告示 第1436号 四一二一(四) 準不(下) 階段用床材 東リNSステップ800 告示 第1436号 四一ホ ※ 65型スタッド:高さ4.0m以下 高耐久UV樹脂コーティング ※ 90型スタッド:高さ4.0mを超え4.5m以下 準不燃材 令 第112条 第4項、第9項 アイカエ業株式会社 セラール メラミン不燃化粧板 t3mm ※ 100型スタッド:高さ4.5mを超え5.0m以下 令 第120条 第2項 準不 令 第123条 第1項 2号 ※ 5.0m以上の部分には、主要構造部と同等の下がり壁等を設ける 不燃化粧シート 不燃化粧シート スリーエムジャパン株式会社 3M ダイノックシート ※ 壁を貫通する設備配管等は、地震動時にも壁に加力を与えない構造とする 令 第123条 第3項 3号 難燃 令 第129条の13の3 第3項 5号 ・ 主に小部屋等簡易に設置する間仕切りは、床版と天井下地に標準仕様書に規定する仕様とする 不燃腰壁システム H900 腰壁システム アイカエ業株式会社 不燃腰壁システム マーレス 巾木 H60,見切 H40,腰板 t6mm ※ 当該間仕切り設置部分の天井下地は、補強のため斜め材を設置する ■ 耐火・不燃材料等一覧表 ※ 設置範囲は平面図による 告示番号・認定番号 ・ ライナー材とスタッドの取り付けは、標準仕様書および工事監理指針に規定する仕様とする 性能 1時間耐火 建築工事監理指針に規定する上部ライナーとスタッド天端の隙間は10mm以下とする 鉄骨柱 + ロックウール吹付 t25 FP060CN-9460 (防火区画取合) 鉄骨柱 告示 不燃 <u>(その他)</u> 鉄骨梁 13. 構造スリット部分の仕上材取合い(変形追従性) FP060BM-9408 鉄骨梁 + ロックウール吹付 t25 1時間耐火 (防火区画取合) 鉄骨梁 【壁取り合い】 告示 不燃 (その他) 各認定番号 ・ 鉄筋コンクリート壁の構造スリットが内装材の下地になる部分は内装仕様は下記による 建 具 建具リストによる ※ 自立可能なRC壁(W=構造図)を挟み、構造スリットに直接枠が接しない仕様とする GB-F t15mm二重張り + 窯業系サイディング t16mm横張り FP060NE-0251-1(3) 1時間耐火 GB-F t15mm二重張り + ロックウール吹付 t30 ・構造スリットが建具枠に取り合う部分では、枠のアンカーを無くし、所定の性能確保に必要な枠廻り補強を行う FP060NE-9305 1時間耐火 (タテ張り) 屋 根 告示 ・ 構造スリットが建具枠に取り合う部分では、サッシュ自体の層間変異追従による対策とする 不燃 FP060NP-0174 14. 特記なきコンクリート打放しは、外壁増打 t15、内壁増打 t10とし、表面のケレンおよびモルタル補修を行う。また型枠緊結金物はコーン状とし、 防火区画壁 LGS W100mm壁下地 GB-F t12.5mm+t12.5mm張り(両面) 60分耐火構造 壁・天井 GB-R t9.5mm 準不燃 既製セメント系充填用コーンを充填する QM - 9828壁・天井 GB-R t12.5mm 不燃 15. コンクリート化粧打放し又は塗装仕上面・壁紙張面の打放し部分見掛り出隅はピン角とする NM-8619 16. シーリング材の仕様は全て公共建築工事標準仕様書によること GB-F t12.5mm NM-8615 不燃 壁 GB-S t12.5mm 17. 屋外の鋼製部分は特記なき限り溶融亜鉛メッキの上指定仕上げを行うものとする QM-9826 準不燃 18. 特記なき内部建具の沓摺以外で床仕上の変わる場合は、床見切 SUS FB-6×20(HL、アンカー付)を設けること NM-1864 不燃 GB-D(T) t9.5mm ※ 不燃 19. 異なる金属が取り合う部分で、電食の恐れのある場合は、防蝕処理を行う 天井 GB-D(T) t9.5mm QM - 0524準不燃 FK-K t6mm 不燃 20. CB等、亀裂の発生が予想される部分には、亀裂防止用ガラスクロス等の捨て張りを行う NM - 4487NM - 505521. 壁面・天井面の塗装は特記なき限りローラー仕上げとする。ただし、岩綿吸音板 (DR) に塗装を行う場合はシーラー処理の上吹付塗装をする 壁 FK (孔) t6mm 不燃 告示第1439号 第2項第2号 22. 遮音壁及び耐火壁については、メーカー標準仕様にて施工とし、認定書を添付すること 杉板 t12mm + GB-R t12.5mm 難燃 23. 遮音壁に設ける設備類の貫通処理は壁同等の所要性能を確保した処理を行うこと ビニルクロス(防塵) NM-9889 不燃 壁 天井 QM - 9502準不燃 24. 塗材・塗装下地のボード下地処理は、継目処理工法とする ビニルクロス(防塵) 25. 塗材・塗装下地のボード張で、入隅・出隅部はコーナー処理を施すこと t˙=ルクロス (一般) NM-3984 不燃 26. 壁装材下地のボード張りで、入隅部及び縦枠取合部、見切縁取合部・出隅部は全て、見切材を設ける 天井 ビニルクロス(一般) QM - 0819準不燃 (入隅部:塩ピ製、出隅・縦枠(FLからH2.1mまで):アルミ製、縦枠・見切縁:アルミ製又は塩ピ製) 27. 化粧(樹脂フィルム) ケイ酸カルシウム板は底目地張りとする。小口張仕様、目地テープ共、目地幅5mm程度(引渡しまで養生シート張り) 28. 化粧(樹脂フィルム)ケイ酸カルシウム板の出隅・入隅は全てアルミ製同柄化粧材(メーカー標準品)を使用すること 出隅:G14形状、入隅:E形状 29. ビニルシート及びビニルタイル張等に使用する接着剤はエポキシ系とする。竣工引渡し時にワックス仕上を必ず行うこと 30. 壁装材の程度は、塩ビ系壁装材 AA級程度、織物壁装材 D級程度とする 31. 特記なき限り巾木下地は壁下地と同材とする 32. 特記なき限り軽量鉄骨壁下地はW65とし、全てスラブ下までとする 33. 天井下地は、軽量鉄骨天井下地とする 34. 特記なき限り天井見切縁は底目地タイプとする。目地幅8mm以下 神田まちづくりセンター改築工事(建築) 一級建築士 A1 (A3) 令和5年6月 登録 第169646号 中村 仕上表 (特記仕様書) _ (-) 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第1-2423号 株式会社ヤスザワ設計 三 輪 弘 幸 登録 第314702号

名制	装 床 限 仕上げ	下地 塗装	福木 仕上げ 塗装	壁仕上げ	下地 塗装 柱型	梁型 仕上げ 下地 塗	天井 仕上げ	下抽涤	 	壁 サ 手 イ 摺 ン	備考棟	東名 階 室 名 内装制器	床 仕上げ	下地:塗装 床	末高 仕上げ 2		梁型 仕上げ	天井 下地 塗装 仕上げ 下均	廻縁		せ サ . 手 イ , 摺 ン
ds.)	TCP t6.5mm貼り	- 		ユエワ R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	LGS 全表 任至	1 L - 1 J L - 1 L	GB-R t9.5mm捨張り + DR t9		W 2,600 (プラ			ŧ 1	Nc t2.0mm貼り			UC GB-D (押) t12.5mm張り L	38	PR	i i	2,600	
(V0C24) × (1)	*											ちづく (V0024) ※() 海				GB-F t21mm + GB-R-H t9.5mm張り GB-D (押) t12.5mm張り	98				
議室 1	F											り 押入① 一									
												ク タ 									
	TCP t6.5mm貼り	FT ±	0 VB60 GB-F	R t12.5mm張りの上 ピニルクロス貼り	LGS		GB-R t9.5mm捨張り + DR t9	9.0mm張り LGS	V 2, 600 (7-3	可動間仕切!	壁	 	Nc t2.0mm貼り	F下 ±	±0 押縁	UC GB-D (押) t12.5mm張り L	GS O	GB-D (押) t9.5mm張り LGS		2, 600	中棚、枕棚
(V0C24) × (1)	<u> </u>											(V0024) ×() ## 3 ② 準				GB-F t21mm + GB-R-H t9.5mm張り GB-D (押) t12.5mm張り	38				
議室 2 7	F											押入②									
	Nc t2.0mm貼り	Mo ±	0 VB60 GB-F	R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	LGS		GB-R t9.5mm捨張り + DR t9	9.0mm張り LGS	V 2, 600 (7)	0			Nc t2.0mm貼り	F下 ±	±0 VB60	GB-R t12.5mm張りの上 ピニルクロス貼り	GS O	GB-D (T) t9.5mm張り LGS	S V		
(V0C24) ×(1) 的ルーム 準	<u> </u>											(V0C24) ×() 物入									
1																					
	N (51.52) 12.5 51.11		GB-S	S t12 5mm張りのト											a UDaa	GB-S t12.5mm張りの上					
(V0C24)	Nc (防滑) t2.0mm貼り	Mo ±	0 VB60 GB-3	S t12.5mm張りの上 MB t3mm貼り S t12.5mm張りの上 SUS304製パネルt1.0mm貼り	LGS 2B		FK t6.0mm (目地張)	LGS E	P V 2, 600 (7-3)		-プン棚、戸棚、コンロ台 	(V0C24)	Nc t2.0mm貼り	F下 ±	±0 VB60	MB t3mm貼り L GB-F t21mm + GB-R-H t9.5mm張り MB t3mm貼り L	GS	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S V	2, 400	流し台、吊
×(1) 実習室 ^準	 			SUS304製バネル t1.0mm貼り						スクリーン (h120		※() 給湯室② 準				MB t3mm見らり					
	スポ゚-ツ用弾性塩ビシート t9.2mm貼	貼り Mo +	O WB60 UC GB-F	R t12.5mm張りの上 杉板 t12mmタテ張り	I GS UC		GB-R t9.5mm捨張り + DR t9	9 Omm張り IGS	W UC 5, 160 (1)	姿見鏡			Nc t2.0mm貼り	F下 ±	+0 WB60	UC GB-R t12.5mm張りの上 t゚ニルクロス貼り L'	38	GB-R t9.5mm張りの上ビニルクロス貼り LGS	S W	UC 2, 400	植
(V0C24)			GB-F	杉板 t12mmタテ張りR t12.5mm張りの上 難燃有孔シナ合板 t5.5mm張り	LGS UC				3, 100		切枠、可動式階段	(V0C24)	木製フローリンケ t12mm貼り	F下 ±	±0 WB60	UC		Luc			112
×(1) 的ホール 単 燃	性		GB-I	# t12.5mm張りの上 難燃有孔シナ合板 t5.5mm張り	LGS UC					パトミントン用床症	金具	×() 踏込 準 ホール									
			ub-1	難燃有孔シナ合板 t5.5mm張り	2 LGS UC																
	スポーツ用弾性塩ビシート t9.2mm貼	貼り Mo ±	O WB60 UC GB-I	R t12.5mm張りの上 FK (孔) t6.0mm張り	LGS EP		GB-R t9.5mm捨張り + DR t9	9.0mm張り LGS	W UC 4,000 ~4,600	框、階段、甲	板、床下点検口		磁器質300角タイル貼り	Mo -3	-30 FK(化)専用 60	GB-R t12.5mm張りの上 t*ニルクロス貼り	98	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S V	3, 430	
(V0C24) ×()	スポーツ用弾性塩ピシート t9.2mm貼	貼り 鋼床 +60	1 3 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		幕、一文字幕	○ (V0C24) × ()				GB-R t12.5mm張りの上 FK (化) t6mm張り	38				
テージ 紫 炊	性									ハ゛トン、スケリーン		玄関不									
	Nc t2.0mm貼り	Mo ±	0 VB60 GB-	S t12.5mm張りの上 ピニルクロス貼り	LGS		GB-D (T) t9.5mm張り	LGS	V 2, 600				TCP t6.5mm貼り	F下 ±	±0 FK(化)専用 60	GB-R t12.5mm張りの上 t*ニルクロス貼り	98	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S V	3, 400	受付カウンター、
(V0C24) ×()	i											(V0C24) ×() 進				FK (化) +6mm 張り	GS				框
庫②												ホール 帯不 下足室									
	Nc t2.0mm貼り	Mo ±	0 VB60 GB-3	S t12.5mm張りの上 ピニルクロス貼り	LGS		GB-D (T) t9.5mm張り	LGS	V 2, 600				No t2.0mm貼り	F下 ±	±0 VB60	GB-R t12.5mm張りの上 ピニルクロス貼り	GS O	GB-D (T) t9.5mm張り LGS	S V	2, 400	
(V0C24) ×() 庫③ 準												(V0C24) ×() 倉庫① 準									
1																					
			GB-I	R t12 5mm張りのト																	
(V0C24)	TCP t6.5mm貼り	F下 ±	0 VB60 G5 1	R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	LGS		GB-R t9.5mm捨張り + DR t9	9.0mm張り LGS	V 2,600 7			(V0C24)	Nc t2.0mm貼り	F下 ±	±0 VB60	GB-S t12.5mm張りの上 MB t3mm貼り	38	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S V	2, 400	キッチンセット、し
×(1) 務室 ^準	ļ F											×() 給湯室① 準									
	TCP t6.5mm貼り	F下 ±	0 FK(化)専用 GB-F	R t12.5mm張りの上	LGS		GB-R t9.5mm捨張り + DR t9	9.0mm張り LGS	V 2, 600 (7 ⁻³	掃除用具入、	ロッカー		Nc t2.0mm貼り	F下 ±	±0 VB60	GB-R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	98	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S V	2, 400	
(V0C24)			GB-F	E*ニルクロス貼り E*ニルクロス貼り E*ニルクロス貼り R t12.5mm張りの上 FK (化) t6mm張り FK (化) t6mm張り FK (化) t6mm張り	LGS							(V0C24) × (1)									
-ス^゚-ス オ	基		GB-I	R t12.5mm張りの上 FK(化)t6mm張り F t21mm + GR-R-H t9 5mm建	LGS							授乳室 不									
				FK (化) t6mm張り	LGS																
	TCP t6.5mm貼り	F下 ±	0 VB60 GB-I	R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	LGS		GB-R t9.5mm捨張り + DR t1	12.0mm張り LGS	V 2, 600 (2°)				Nc(トイレ) t2.0mm貼り	Mo ±	±0 VB60	GB-S t12.5mm張りの上 MB t3mm貼り L	GS	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S S	2, 400	面台、汚垂
(V0C24) × (1)	#		GB-I	R t12.5mm張りの上 ビュルクロス貼り ^E t21mm + GB-R-H t9.5mm張 ビュルクロス貼り	LGS							○ (V0C24) × ()									
ソナルルーム オ	F											女子トイレ 準不 男子トイレ									
												通路									
	タタミ t55mm敷	FF ±	O タタミ寄 UC GB-I	R t12.5mm張りの上 t゙ニルクロス貼り	LGS		GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス	ス貼り LGS	W UC 2,600	ペンチ、長押、	付鴨居		Nc(トイレ) t2.0mm貼り	Mo ±	±0 VB60	GB-S t12.5mm張りの上 MB t3mm貼り	38	GB-R t9.5mm張りの上ピニルクロス貼り LGS	S	2, 400	0
(V0C24) ×(1) 室8帖 ^準	E											(V0C24) ×() 多目的									
± ∨ ™ 7	F											多目的イヤートイレートイレート									
) +10 E3E											FV / 0. \ + -	CP D +10 E2F !					
(VOC24)	タタミ t55mm敷	F下 ±	O タタミ寄 UC GB-F	R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	LGS		GB-R t9.5mm張りの上ビニルクロス	ス貼り LGS	W UC 2,600	電気炉、長押	、付鴨居、付柱	(10004)	TCP t6.5mm貼り	F下 ±	±0 FK(化)専用 60	GB-R t12.5mm張りの上 t゙ニルクロス貼り GB-R t12.5mm張りの上	98	GB-R t9.5mm捨張り + DR t9.0mm張り LGS	S V	2, 600	
(V0C24) ×(1) 室10帖 準	<u> </u>											(V0C24) ×() 廊下 準				GB-R t12.5mm張りの上 FK (化) t6mm張り	38				
1																					
	± 64 ++		00 tm c= GR-I		100		00 D 10 F 35 11 - 1 1 1	78F.U	W 110 0 500		# ## mc =										
(V0C24)	薄縁床 	F F +10	pu	R t12.5mm張りの上 ビニルクロス貼り	Lus U		GB-R t9.5mm張りの上ビニルクロス	ス貼り LGS	W UC 2,500		板、床柱、鴨居	(V0C24)									
×() Eの間 増	基									, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		×() ×() 準 不									
書院																					
													<u></u> 神田まちづくりセン	ター改築工事	 事 (建築)	設計者	図面名称	SCALE			SIGN
1													. — .		/	│ 一級建築士		A1	(A3) 令	令和5年6月	

